

令和5(2023)年度

学生募集要項

フロンティア入試(総合型選抜)

新型コロナウイルス感染症対策のため、募集要項に記載の内容から変更が生ずる可能性があります。最新の情報は本学ホームページ※にて公表しますので、随時ご確認ください。

※ 北海道大学ホームページ>入学案内 (<https://www.hokudai.ac.jp/admission/>)

また、出願に必要な各種証明書については、今後入手が困難となる場合に備えて、早めに準備を行ってください。

北海道大学

北海道大学のアドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

北海道大学は、理系から文系までの全分野において大学院での研究や教育に重点を置く、日本を代表する基幹総合大学の一つです。その起源は、1876年に設立された札幌農学校に遡ることができます。その伝統から、本学は、帝国大学を経て新制大学に至る長い歴史の中で、「フロンティア精神」、「国際性の涵養」、「全人教育」及び「実学の重視」という教育研究に関わる基本理念が生まれ、今日まで学問の自主、自由を培ってきました。

この理念の下に、本学は今、新世紀における知の創成、伝承、実証の拠点として発展することを目指し、教育研究を通じて、人類の福祉、科学、文化及び社会の発展に寄与することを使命としています。

そのため、学士課程においては、世界における市民としての自覚をもって社会に参加できること、専門の基礎となる学問やコミュニケーションの方法を身につけること、専門分野を広い視野の下に学ぶことを目指した教育を進めています。それを通じて、国際的に通用する高度な学問的素養をもち、健全な市民としての的確な判断力とリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。同時に、専門的職業人として指導的立場に立つ人材の育成、学術創造に進んで向かう人材の育成も目指しています。

これらを実現するため、北海道大学は、創設以来、歴史と伝統を継承しながら広く世界に優秀な人材を求め、学士課程教育を受けるにふさわしい学力、すなわち基礎知識・基礎技能・数理能力・語学力・理解力・読解力を備えた学生、また、大学入学以降の学びに必要な問題解決能力・創造力・倫理性・思考の柔軟性・コミュニケーション能力・論理的思考力・リーダーシップ、人間性や学ぶ意欲などを備えた学生を、多様な選抜制度により受け入れています。

未来を拓く北海道大学

北海道大学は、世界の平和と繁栄に貢献する学術研究を発展させ、人類社会の未来を拓く創造力と責任ある行動力・指導力に富む人材を育成するために、教育研究に取り組んでいます。

本学は、建学以来基盤としてきたフロンティア精神のもとに、

- 先端的な学術研究を推し進める創造性と知性を持つ人材
- 高度な専門的知識を備えた職業人として社会に貢献する人材
- グローバルな視野と国際社会に発信できる力を備えた人材

を着実に育てることを決意しています。

フロンティア入試について

急速に変化する社会のなかで、今世の中に存在していない新しい方法論や考え方を生み出す力や、さらに新たに生まれる課題を見出し解決する力を持つ人材が強く求められています。

このような中、基礎的な学力や技能、思考と判断力が重要なことは言うまでもありませんが、これに加えて、主体的な行動を起こす力や新しいものごとにチャレンジしていく強い意欲が極めて重要です。

フロンティア入試ではこのような観点に立ち、将来大学や社会での新しい価値の創造を目指し、新しい時代を生き抜く素養と、北海道大学で学びたいという強い意志を持つ学生を募集します。

フロンティア入試は出願書類、選抜方法の違いにより「Type I」・「Type II」に区分して実施します。

<フロンティア入試Type I >

出願書類（調査書、個人評価書、コンピテンシー評価書、自己推薦書、諸活動の記録等）により第1次選考を行う。高等学校等における多様な活動を、各募集単位が定める評価軸に沿って高等学校等の教諭が評価（コンピテンシー評価※）し、その結果を選考に用いる。第2次選考は、課題論文、面接（口頭試問）等を課す。また、大学入学共通テストの成績を利用する。

※ コンピテンシー評価：<https://www.hokudai.ac.jp/admission/competency.pdf>



<フロンティア入試Type II >

出願書類（調査書、個人評価書、自己推薦書等）により第1次選考を行う。第2次選考は、適性試験（各募集単位が指定する数学・理科に係る分野）、面接（口頭試問）等を課し、基礎的な知識・技能と共に、思考力・表現力等を評価する。

目 次

1	募集人員・選抜日程	1
2	実施学部・学科等、募集人員、出願資格及び要件等	3
	＜フロンティア入試Type I＞	
(1)	理学部地球惑星科学科	3
(2)	医学部医学科	5
(3)	医学部保健学科看護学専攻	7
(4)	医学部保健学科放射線技術科学専攻	9
(5)	医学部保健学科検査技術科学専攻	11
(6)	医学部保健学科理学療法学専攻	13
(7)	医学部保健学科作業療法学専攻	15
(8)	歯学部	17
(9)	工学部応用理工系学科（応用マテリアル工学コース）	19
(10)	工学部環境社会工学科（社会基盤学コース）	21
(11)	水産学部	23
	＜フロンティア入試Type II＞	
(12)	理学部数学科	25
(13)	理学部物理学科	27
(14)	理学部化学科	29
(15)	理学部生物科学科（高分子機能学専修分野）	31
(16)	工学部応用理工系学科（応用物理工学コース）	33
(17)	工学部機械知能工学科	35
(18)	工学部環境社会工学科（環境工学コース）	37
3	出願手続	39
4	受験上の配慮について	45
5	入学者選抜方法	46
6	配点	47
7	受験番号の通知	48
8	第1次選考結果の発表	49
9	受験票の発行	49
10	第2次選考の日時・会場	49
11	第2次選考結果の発表	50
12	大学入学共通テスト成績請求票の提出	50
13	大学入学共通テストの得点調整＜フロンティア入試Type Iのみ＞	51
14	最終合格者の発表	51
15	入学手続	51
16	個人情報の取扱い	53
17	入学料減免と授業料減免	54
18	学生寮の入寮案内	56
	「大学案内誌（Be ambitious）」及び「フロンティア入試案内」の請求方法	57
	フロンティア入試（総合型選抜）過去の志願者数・合格者数	58
	大学入学共通テスト成績請求票貼り付け台紙	59
	試験場案内図（北海道大学札幌キャンパス・函館キャンパス）	60
	オープンキャンパス情報	62
	各種問合せ先	62
	北海道大学アドミッションセンター入学相談室	62

北海道大学では、フロンティア入試の出願登録をインターネットにより行います。

北海道大学インターネット出願登録サイト (<https://e-apply.jp/ds/hokudai-gakubu1-jpn/>) にアクセスしてください。

なお、出願にあたっては、

- ①カラープリンター（必要書類出力用）
- ②メールアドレス（検定料支払完了通知及び各種連絡受信用）

を用意してください。

また、インターネット出願登録だけでは出願手続は完了しませんので、ご注意ください。

出願手続に関する詳細は、39～44ページを参照してください。

1 募集人員・選抜日程

<フロンティア入試TypeI>

実施学部・学科等			募集人員※	
(1)	理学部 地球惑星科学科		5名	
(2)	医学部	医学科	5名	
(3)		保健学科	看護学専攻	7名
(4)			放射線技術科学専攻	7名
(5)			検査技術科学専攻	10名
(6)			理学療法学専攻	4名
(7)			作業療法学専攻	7名
(8)	歯学部		5名	
(9)	工学部	応用理工系学科(応用マテリアル工学コース)	4名	
(10)		環境社会工学科(社会基盤学コース)	4名	
(11)	水産学部		20名	
計			78名	

※ 選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜(前期日程又は後期日程)の募集人員に加えます。

事項	日時・期間
出願期間	令和4(2022)年9月30日(金)10時から 令和4(2022)年10月6日(木)17時まで(期間内必着) ※ インターネット出願登録は令和4(2022)年9月22日(木)10時から事前登録が可能ですが、出願受付は上記期間に限ります。
受験番号通知	令和4(2022)年10月下旬 ※ 願書受理後、インターネット出願サイトを通じて受験番号を通知します。
第1次選考結果発表	令和4(2022)年11月4日(金)16時(予定)
受験票の発行	第1次選考結果発表後、11月7日(月)17時までに掲載 ※ 第1次選考合格者は、インターネット出願サイトで受験票(試験場情報、受験者心得等を含む)がダウンロードできるようになります。第2次選考当日は、印刷した受験票を持参してください。
第2次選考実施日	令和4(2022)年11月20日(日)
第2次選考結果発表	【理学部地球惑星科学科、医学部医学科、歯学部、工学部環境社会工学科(社会基盤学コース)、水産学部のみ】 令和4(2022)年12月8日(木)16時(予定)
大学入学共通テスト成績請求票提出期間	令和4(2022)年12月12日(月)から 令和4(2022)年12月19日(月)(期間内必着)
大学入学共通テスト実施日	令和5(2023)年1月14日(土)・15日(日)
最終合格者の発表	令和5(2023)年2月14日(火)16時(予定)
入学手続期間	令和5(2023)年2月15日(水)から 令和5(2023)年2月20日(月)17時まで(期間内必着)

<フロンティア入試 Type II >

実施学部・学科等			募集人員※
(12)	理 学 部	数学科	13名
(13)		物理学科	14名
(14)		化学科	11名
(15)		生物科学科（高分子機能学専修分野）	3名
(16)	工 学 部	応用理工系学科（応用物理工学コース）	15名
(17)		機械知能工学科	5名
(18)		環境社会工学科（環境工学コース）	5名
計			66名

※ 選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜（後期日程）の募集人員に加えます。

事 項	日時・期間
出願期間	令和4（2022）年9月30日（金）10時から 令和4（2022）年10月6日（木）17時まで（期間内必着） ※ インターネット出願登録は令和4（2022）年9月22日（木）10時から事前登録が可能ですが、出願受付は上記期間に限ります。
受験番号通知	令和4（2022）年10月下旬 ※ 願書受理後、インターネット出願サイトを通じて受験番号を通知します。
第1次選考結果発表	令和4（2022）年11月4日（金）16時（予定）
受験票の発行	第1次選考結果発表後、11月7日（月）17時までに掲載 ※ 第1次選考合格者は、インターネット出願サイトで受験票（試験場情報、受験者心得等を含む）がダウンロードできるようになります。第2次選考当日は、印刷した受験票を持参してください。
第2次選考実施日	令和4（2022）年11月20日（日）
最終合格者の発表	令和4（2022）年12月8日（木）16時（予定）
入学手続期間	令和4（2022）年12月12日（月）から 令和4（2022）年12月15日（木）17時まで（期間内必着）

2 実施学部・学科等、募集人員、出願資格及び要件等

<フロンティア入試Type I >

(1) 理学部地球惑星科学科

【趣旨・目的】

現在の日本では、高校で「地学」を教えるところが少ないため、大学進学を目指す高校生の多くは地球惑星科学という学問領域を正しく理解していません。

そのため、興味のないまま地球惑星科学科に進学して学部教育でとまどう例も多くみられます。そこで、このフロンティア入試では、地球惑星科学の特性と可能性を十分に理解し、地球惑星科学を積極的に学ぶ強い意欲と資質を持った人材を選抜することを目的としています。

【フロンティア入試で求める学生像】

- ・地球や惑星の自然現象に興味を持ち、地球惑星科学を積極的に学びたい学生
- ・基礎学力があり、将来、この分野の研究者や技術者になりたいという志望を持つ学生
- ・地球と惑星の構成と進化を学ぶため、野外での調査や観察、観測、室内実験及び数値計算・解析等を積極的に行う学生

【募集学科、募集人員】

学 科	募 集 人 員
地球惑星科学科	5 名

※ 選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜（後期日程）の募集人員に加えます。

【出願資格・要件】

令和5（2023）年度大学入学共通テストの教科・科目のうち本学が指定した教科・科目（次頁の「大学入学共通テストの教科・科目と配点」を参照）をすべて受験する者で、次に掲げる資格及び要件に該当するもの

1. 資 格

次のいずれかの資格に該当すること。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和5（2023）年3月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4（2022）年4月から令和5（2023）年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和4（2022）年4月から令和5（2023）年3月までに修了又は修了見込みの者

2. 要 件

次のすべての要件に該当すること。

- (1) 高等学校等で「物理基礎・物理」又は「化学基礎・化学」を履修している者（理数科にあつては、「理数物理」又は「理数化学」を履修している者）
※ 該当科目を学校設定科目で代替している場合は、その代替科目を履修している者を含みます。
- (2) 英語能力が、実用英語技能検定2級以上、もしくはTOEIC L&Rのスコアが600点以上である者
ただし、TOEIC L&Rについては令和2（2020）年10月1日以降に受験した試験のスコアのみ有効とします。
- (3) 合格した場合、入学を確約できる者

【選抜方法】

調査書、コンピテンシー評価書（注）、自己推薦書、総合問題、面接及び大学入学共通テスト等の結果を総合して合格者を決定します。

第1次選考

調査書、コンピテンシー評価書（注）、自己推薦書により選考を行います。

注)「コンピテンシー評価書」については、高等学校等の教員が多段階評価のうえ、専用のWebシステムで入力することとなります。入力方法や提出期限等は、39ページ「3 出願手続 (2)出願書類等」に記載のとおりですので、「コンピテンシー評価書」を入力する教員と早期に連絡を取り、不備の無いよう準備してください。

第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、総合問題を課し、面接を行います。

また、令和5(2023)年度大学入学共通テストの結果を利用します。

- ・総合問題：科学的基礎知識、論理性、判断力を問う。
- ・面接：意欲、目的意識、論理的思考力を問う。

ただし、日本地学オリンピック大会における過去2年間の予選（1次選抜）通過者で総合問題の免除を希望する者については、日本地学オリンピック大会予選（1次選抜）の結果を総合問題の点数に換算します。

また、令和5(2023)年度大学入学共通テストで受験を要する教科・科目の得点が、以下の条件を満たさなければ最終合格の対象となりません。（※下記の「大学入学共通テストの教科・科目と配点」を併せて参照）

- ・受験を要する教科・科目の得点の合計が合格基準点（450点）以上であること。

なお、大学入学共通テスト本試験の平均点が過去の水準と比べて大幅に下がった科目については、得点調整を行うことがあります。（51ページ参照）

【大学入学共通テストの教科・科目と配点】

(1) 令和5(2023)年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科名	科目名
数 学	「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」
理 科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から、「物理」又は「化学」を含む2科目選択
外国語	「英語（リスニングを含む）」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目選択

(2) 大学入学共通テストの配点

大学入学共通テストの成績は、最終合格者とするための得点条件を満たしているか否かの判定にのみ用いるものとします。（上記の「選抜方法」を参照）

教科名	数 学	理 科	外国語	合 計
点 数	200点	200点	200点	600点

※ 外国語（英語）においてリスニングを免除された者については、リーディング（100点満点）を200点満点に換算して利用します。

【その他】

- ・入学後、1年次は総合教育部で学び、2年次進級時に理学部地球惑星科学科に所属します。
- ・フロンティア入試に合格し、入学手続きをした者には、高等学校段階の学習の仕上げを行い大学で学ぶための実力をたくわえてもらうために、課題によるレポートの提出等を求めます。なお、詳細については、入学手続き終了後に通知します。

(2) 医学部医学科

【趣旨・目的】

医学部医学科で実施するフロンティア入試では、国際的なリーダーシップを担う医学研究者及び臨床医等を目指す高い志に溢れる学生を、学業成績とともに学業以外での活動や社会との交流経験等多くの観点で学生を評価することにより、本学で学ぶ意欲と動機に秀でた人材の選考を目的としています。

【フロンティア入試で求める学生像】

- ・基礎学力があり、医学を学ぶ意欲が旺盛で、医学研究者又は臨床医等として国際的に医学・医療、生命科学の実践及び発展に取り組む等、生涯を通じて学問的向上心にあふれる学生
- ・高い倫理観と強い責任感、そして敬虔な奉仕の精神を持ち、謙虚で高潔な使命感にあふれる学生
- ・幅広い視野と国際的な視点を持ち、自己研鑽の志にあふれる学生

【募集学科、募集人員】

学 科	募 集 人 員
医 学 科	5 名

※ 選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜（前期日程の学部別入試）の募集人員に加えます。

【出願資格・要件】

令和5(2023)年度大学入学共通テストの教科・科目のうち本学が指定した教科・科目（次頁の「大学入学共通テストの教科・科目と配点」を参照）をすべて受験する者で、次に掲げる資格及び要件に該当するもの

1. 資 格

次のいずれかの資格に該当すること。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和5(2023)年3月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4(2022)年4月から令和5(2023)年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和4(2022)年4月から令和5(2023)年3月までに修了又は修了見込みの者

2. 要 件

次のすべての要件に該当すること。

- (1) 高等学校等で「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」及び「生物基礎・生物」のうち、「物理基礎・物理」を含む2つを履修している者
(理数科にあつては、「理数物理」、「理数化学」及び「理数生物」のうち、「理数物理」を含む2つを履修している者)
※ 該当科目を学校設定科目で代替している場合は、その代替科目を履修している者を含みます。
- (2) 高等学校等の学習成績概評がA以上の者
- (3) 合格した場合、入学を確約できる者

【選抜方法】

調査書、コンピテンシー評価書（注）、自己推薦書、諸活動の記録、課題論文、面接及び大学入学共通テスト等の結果を総合して合格者を決定します。

第1次選考

調査書、コンピテンシー評価書（注）により選考を行います。

注）「コンピテンシー評価書」については、高等学校等の教員が多段階評価のうえ、専用のWebシステムで入力することとなります。入力方法や提出期限等は、39ページ「3 出願手続（2）出願書類等」に記載のとおりですので、「コンピテンシー評価書」を入力する教員と早期に連絡を取り、不備の無いよう準備してください。

第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、課題論文を課し、面接を行います。

さらに、コンピテンシー評価書の結果も併せて総合評価します。

- ・課題論文：論理性、読解力、思考力、判断力等を問う。
- ・面接：自己推薦書、諸活動の記録等も参考として、意欲、目的意識、実行力、適性等を問う。さらに、医療における「研究」と「臨床」を包括的に踏まえて研鑽していける、優れた資質・能力を問う。
- ・コンピテンシー評価書：
「学習活動」及び諸活動の記録について、医学部医学科が求める資質及び能力をもった人物を選抜するという観点から、評価する。

ただし、令和5（2023）年度大学入学共通テストで受験を要する教科・科目の得点が、以下の条件を満たさなければ最終合格の対象となりません。（※下記の「大学入学共通テストの教科・科目と配点」を併せて参照）

- ・受験を要する教科・科目の得点の合計が合格基準点（765点）以上であること。

なお、大学入学共通テスト本試験の平均点が過去の水準と比べて大幅に下がった科目については、得点調整を行うことがあります。（51ページ参照）

【大学入学共通テストの教科・科目と配点】

(1) 令和5（2023）年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科名	科 目 名
国 語	「国語」
地理歴史、 公民	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「倫理、政治・経済」から1科目選択 ※2科目を受験している場合は、第1解答科目を利用します。
数 学	「数学Ⅰ・数学A」を必須とし、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目選択 ※「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。
理 科	「物理」を必須とし、「化学」又は「生物」から1科目選択
外国語	「英語（リスニングを含む）」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目選択

(2) 大学入学共通テストの配点

大学入学共通テストの成績は、最終合格者とするための得点条件を満たしているか否かの判定にのみ用いるものとします。（上記の「選抜方法」を参照）

教科名	国 語	地理歴史・公民	数 学	理 科	外国語	合 計
点 数	200点	100点	200点	200点	200点	900点

※ 外国語（英語）においてリスニングを免除された者については、リーディング（100点満点）を200点満点に換算して利用します。

【その他】

入学後、1年次は総合教育部で学び、2年次進級時に医学部医学科に所属します。

(3) 医学部保健学科看護学専攻

【趣旨・目的】

看護学は、さまざまな環境のもとで生活している人々が、その健康状態において生命力を高め、持てる力を十分に発揮できるための援助について科学的に探求しています。

看護学専攻では、社会の多様なニーズに対応できる高度な看護実践能力と国際的視野を持った看護職を育成することを目的としています。フロンティア入試では、学業成績とともに多様な個性と看護への志向を重視しています。

【フロンティア入試で求める学生像】

- ・看護学を学ぶ基礎学力があり、論理的な思考と豊かな表現力のある学生
- ・看護と人に対して関心が高く、探求心が旺盛である学生
- ・グループの中で協調的に行動することができ、リーダーシップを発揮できる学生
- ・受け身でなく、自ら目的や課題を設定して学ぶ意欲のある学生

【募集学科等、募集人員】

学 科	専 攻	募 集 人 員
保 健 学 科	看 護 学 専 攻	7 名

※ 選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜（前期日程の学部別入試）の募集人員に加えます。

【出願資格・要件】

令和5(2023)年度大学入学共通テストの教科・科目のうち本学が指定した教科・科目（次頁の「大学入学共通テストの教科・科目と配点」を参照）をすべて受験する者で、次に掲げる資格及び要件に該当するもの

1. 資 格

次のいずれかの資格に該当すること。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和5(2023)年3月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4(2022)年4月から令和5(2023)年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和4(2022)年4月から令和5(2023)年3月までに修了又は修了見込みの者

2. 要 件

合格した場合、入学を確約できる者

【選抜方法】

調査書、個人評価書、コンピテンシー評価書(注)、自己推薦書、諸活動の記録、面接及び大学入学共通テスト等の結果を総合して合格者を決定します。

第1次選考

調査書、個人評価書、コンピテンシー評価書(注)、自己推薦書、諸活動の記録により選考を行います。

注)「コンピテンシー評価書」については、高等学校等の教員が多段階評価のうえ、専用のWebシステムで入力することとなります。入力方法や提出期限等は、39ページ「3 出願手続 (2)出願書類等」に記載のとおりですので、「コンピテンシー評価書」を作成する教員と早期に連絡を取り、不備の無いよう準備してください。

第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、面接を行います。

さらに、令和5(2023)年度大学入学共通テストの結果も併せて総合評価します。

- ・面接：意欲、目的意識、論理性、協調性、適性、基礎学力等を問う。
- ・大学入学共通テスト：基礎学力を問う。

なお、大学入学共通テスト本試験の平均点が過去の水準と比べて大幅に下がった科目については、得点調整を行うことがあります。(51ページ参照)

【大学入学共通テストの教科・科目と配点】

(1) 令和5(2023)年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科名	科 目 名
国 語	「国語」
地理歴史、 公民	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「倫理、政治・経済」から1科目選択 ※2科目を受験している場合は、第1解答科目を利用します。
数 学	「数学Ⅰ・数学A」を必須とし、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目選択 ※「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。
理 科	「物理」、「化学」、「生物」から2科目選択
外国語	「英語(リスニングを含む)」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目選択

(2) 大学入学共通テストの配点

第2次選考時に利用する大学入学共通テストの成績は、次の5教科の合計点数300点を50点満点に換算します。

教科名	国 語	地理歴史・公民	数 学	理 科	外国語	合 計
点 数	80点 (200×0.4)	40点 (100×0.4)	60点 (200×0.3)	60点 (200×0.3)	60点 (200×0.3)	300点

※ 外国語(英語)においてリスニングを免除された者については、リーディング(100点満点)を200点満点に換算して利用します。

【その他】

入学後、1年次は総合教育部で学び、2年次進級時に医学部保健学科看護学専攻に所属します。

(4) 医学部保健学科放射線技術科学専攻

【趣旨・目的】

医学部保健学科放射線技術科学専攻では、診療放射線技師という医療専門職及び保健科学分野の研究者を養成しています。人と向き合う保健科学の探求を通じて、高度な医療技術に加え、高い倫理観や豊かな人間性を備える人材を育成しています。学業成績とともに課外活動や社会交流経験等、多くの観点で学生を評価することにより、本学で学ぶ意欲と動機に秀でた人材の選考を目的としています。

【フロンティア入試で求める学生像】

- ・放射線技術科学を学ぶ基礎学力があり、論理的な思考と豊かな表現力のある学生
- ・医療に対して関心が高く、探求心が旺盛である学生
- ・何事にも積極的に取り組む志が強く、特に高校時代にリーダーシップを発揮し、成果をあげた学生
- ・好奇心旺盛で、自らを啓発する志が強く、学業以外において成果をあげた学生

【募集学科等、募集人員】

学 科	専 攻	募 集 人 員
保 健 学 科	放射線技術科学専攻	7 名

※ 選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜（前期日程の学部別入試）の募集人員に加えます。

【出願資格・要件】

令和5(2023)年度大学入学共通テストの教科・科目のうち本学が指定した教科・科目（次頁の「大学入学共通テストの教科・科目と配点」を参照）をすべて受験する者で、次に掲げる資格及び要件に該当するもの

1. 資 格

次のいずれかの資格に該当すること。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和5(2023)年3月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4(2022)年4月から令和5(2023)年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和4(2022)年4月から令和5(2023)年3月までに修了又は修了見込みの者

2. 要 件

次のすべての要件に該当すること。

- (1) 高等学校等で、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」及び「生物基礎・生物」のうち、「物理基礎・物理」を含む2つを履修している者
(理数科にあつては、「理数物理」又は「理数化学」及び「理数生物」のうち、「理数物理」を履修している者)
※ 該当科目を学校設定科目で代替している場合は、その代替科目を履修している者を含みます。
- (2) 合格した場合、入学を確約できる者

【選抜方法】

調査書、個人評価書、コンピテンシー評価書(注)、自己推薦書、諸活動の記録、面接及び大学入学共通テスト等の結果を総合して合格者を決定します。

第1次選考

調査書、個人評価書、コンピテンシー評価書(注)、自己推薦書、諸活動の記録により選考

を行います。

注)「コンピテンシー評価書」については、高等学校等の教員が多段階評価のうえ、専用のWebシステムで入力することとなります。入力方法や提出期限等は、39ページ「3 出願手続 (2)出願書類等」に記載のとおりですので、「コンピテンシー評価書」を作成する教員と早期に連絡を取り、不備の無いよう準備してください。

第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、面接を行います。

さらに、令和5(2023)年度大学入学共通テストの結果も併せて総合評価します。

- ・面接：意欲、目的意識、論理性、協調性、適性、基礎学力等を問う。
- ・大学入学共通テスト：基礎学力を問う。

なお、大学入学共通テスト本試験の平均点が過去の水準と比べて大幅に下がった科目については、得点調整を行うことがあります。(51ページ参照)

【大学入学共通テストの教科・科目と配点】

(1) 令和5(2023)年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科名	科目名
国語	「国語」
地理歴史、 公民	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「倫理、政治・経済」から1科目選択 ※2科目を受験している場合は、第1解答科目を利用します。
数学	「数学Ⅰ・数学A」を必須とし、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目選択 ※「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。
理科	「物理」を必須とし、「化学」又は「生物」から1科目選択
外国語	「英語(リスニングを含む)」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目選択

(2) 大学入学共通テストの配点

第2次選考時に利用する大学入学共通テストの成績は、次の5教科の合計点数900点を50点満点に換算します。

教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計
点数	200点	100点	200点	200点	200点	900点

※ 外国語(英語)においてリスニングを免除された者については、リーディング(100点満点)を200点満点に換算して利用します。

【その他】

入学後、1年次は総合教育部で学び、2年次進級時に医学部保健学科放射線技術科学専攻に所属します。

(5) 医学部保健学科検査技術科学専攻

【趣旨・目的】

検査技術科学は、人体から医学的な情報を有効に検出する検査法とその分析結果について研究する学問であり、病気の診断及び治療方針の決定を科学的に行うために不可欠な分野となります。

検査技術科学専攻は、多岐にわたる臨床検査法を習得し、検査技術科学の分野で、指導的な立場につく臨床検査技師を養成するとともに、教育者・研究者として医学・医療の発展に寄与できる高度な知識と国際的視野を持った人材の育成を目指しています。

フロンティア入試の目的は、優れた学業成績とともに検査技術科学を通じて医療・社会へ貢献する積極的な意欲・志向を有する個性あふれる人材を選ぶことにあります。

【フロンティア入試で求める学生像】

- ・検査技術科学を学ぶ基礎学力があり、論理的な思考と十分なコミュニケーション能力を有する学生
- ・検査技術科学を通じて医療・社会に貢献できる人材を目指すことを強く志向し、日々、学び、努力できる学生
- ・受動的な知識の受け入れのみならず、自ら目的や課題を設定して学ぶことができる学生
- ・検査技術科学に関わる新たな発見、発明や技術の開発に向け、リーダーシップをとる意欲を生涯持ち続けることができる学生

【募集学科等、募集人員】

学 科	専 攻	募 集 人 員
保 健 学 科	検査技術科学専攻	10名

※ 選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜（前期日程の学部別入試）の募集人員に加えます。

【出願資格・要件】

令和5(2023)年度大学入学共通テストの教科・科目のうち本学が指定した教科・科目（次頁の「大学入学共通テストの教科・科目と配点」を参照）をすべて受験する者で、次に掲げる資格及び要件に該当するもの

1. 資 格

次のいずれかの資格に該当すること。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和5(2023)年3月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4(2022)年4月から令和5(2023)年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和4(2022)年4月から令和5(2023)年3月までに修了又は修了見込みの者

2. 要 件

合格した場合、入学を確約できる者

【選抜方法】

調査書、個人評価書、コンピテンシー評価書(注)、自己推薦書、諸活動の記録、面接及び大学入学共通テスト等の結果を総合して合格者を決定します。

第1次選考

調査書、個人評価書、コンピテンシー評価書(注)、自己推薦書、諸活動の記録により選考を行います。

注)「コンピテンシー評価書」については、高等学校等の教員が多段階評価のうえ、専用のWebシステムで入力することとなります。入力方法や提出期限等は、39ページ「3 出願手続 (2)出願書類等」に記載のとおりですので、「コンピテンシー評価書」を作成する教員と早期に連絡を取り、不備の無いよう準備してください。

第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、面接を行います。

さらに、令和5(2023)年度大学入学共通テストの結果も併せて総合評価します。

- ・面接：意欲、目的意識、論理性、協調性、適性、基礎学力等を問う。
- ・大学入学共通テスト：基礎学力を問う。

なお、大学入学共通テスト本試験の平均点が過去の水準と比べて大幅に下がった科目については、得点調整を行うことがあります。(51ページ参照)

【大学入学共通テストの教科・科目と配点】

(1) 令和5(2023)年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科名	科 目 名
国 語	「国語」
地理歴史、 公民	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「倫理、政治・経済」から1科目選択 ※2科目を受験している場合は、第1解答科目を利用します。
数 学	「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」
理 科	「化学」を必須とし、「物理」又は「生物」から1科目選択
外国語	「英語(リスニングを含む)」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目選択

(2) 大学入学共通テストの配点

第2次選考時に利用する大学入学共通テストの成績は、次の5教科の合計点数300点を60点満点に換算します。

教科名	国 語	地理歴史・公民	数 学	理 科	外国語	合 計
点 数	60点 (200×0.3)	20点 (100×0.2)	80点 (200×0.4)	80点 (200×0.4)	60点 (200×0.3)	300点

※ 外国語(英語)においてリスニングを免除された者については、リーディング(100点満点)を200点満点に換算して利用します。

【その他】

入学後、1年次は総合教育部で学び、2年次進級時に医学部保健学科検査技術科学専攻に所属します。

(6) 医学部保健学科理学療法学専攻

【趣旨・目的】

理学療法学専攻で実施するフロンティア入試では、国際的なリーダーシップを担う理学療法士及び理学療法学研究者を目指す高い志に溢れる学生を、学業成績とともに学業以外での活動や社会活動等多くの観点で学生を評価し、本専攻で学ぶ意欲と動機に秀でた将来に渡る自己研鑽力に富んだ人材を選考することを目的としています。

【フロンティア入試で求める学生像】

- ・ 理学療法学を学ぶ基礎学力があり、論理的な思考と豊かな表現力のある学生
- ・ 人の健康と障害に対して関心が高く、探求心が旺盛である学生
- ・ 受け身でなく、自ら目的や課題を設定して学び、生涯を通じて自己研鑽の志にあふれる学生
- ・ 幅広い視野と国際的な視点を持って協調的に行動し、リーダーシップを発揮できる学生

【募集学科等、募集人員】

学 科	専 攻	募 集 人 員
保 健 学 科	理学療法学専攻	4 名

※ 選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜（前期日程の学部別入試）の募集人員に加えます。

【出願資格・要件】

令和5(2023)年度大学入学共通テストの教科・科目のうち本学が指定した教科・科目（次頁の「大学入学共通テストの教科・科目と配点」を参照）をすべて受験する者で、次に掲げる資格及び要件に該当するもの

1. 資 格

次のいずれかの資格に該当すること。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和5(2023)年3月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4(2022)年4月から令和5(2023)年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和4(2022)年4月から令和5(2023)年3月までに修了又は修了見込みの者

2. 要 件

次のすべての要件に該当すること。

- (1) 高等学校等で、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」及び「生物基礎・生物」のうち、2つを履修している者
(理数科にあつては、「理数物理」、「理数化学」及び「理数生物」のうち、2つを履修している者)
※ 該当科目を学校設定科目で代替している場合は、その代替科目を履修している者を含みます。
- (2) 合格した場合、入学を確約できる者

【選抜方法】

調査書、個人評価書、コンピテンシー評価書(注)、自己推薦書、諸活動の記録、面接及び大学入学共通テスト等の結果を総合して合格者を決定します。

第1次選考

調査書、個人評価書、コンピテンシー評価書(注)、自己推薦書、諸活動の記録により選考を行います。

注)「コンピテンシー評価書」については、高等学校等の教員が多段階評価のうえ、専用のWebシステムで入力することとなります。入力方法や提出期限等は、39ページ「3 出願手続 (2) 出願書類等」に記載のとおりですので、「コンピテンシー評価書」を作成する教員と早期に連絡を取り、不備の無いよう準備してください。

第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、面接を行います。

さらに、令和5(2023)年度大学入学共通テストの結果も併せて総合評価します。

- ・面接：意欲、目的意識、論理性、協調性、適性、基礎学力等を問う。
- ・大学入学共通テスト：基礎学力を問う。

ただし、令和5(2023)年度大学入学共通テストで受験を要する教科・科目の得点の合計が、合格基準点(680点)以上でなければ最終合格の対象となりません。(※下記の「大学入学共通テストの教科・科目と配点」を併せて参照)

なお、大学入学共通テスト本試験の平均点が過去の水準と比べて大幅に下がった科目については、得点調整を行うことがあります。(51ページ参照)

【大学入学共通テストの教科・科目と配点】

(1) 令和5(2023)年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科名	科 目 名
国 語	「国語」
地理歴史、 公民	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「倫理、政治・経済」から1科目選択 ※2科目を受験している場合は、第1解答科目を利用します。
数 学	「数学I・数学A」を必須とし、「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目選択 ※「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。
理 科	「物理」、「化学」又は「生物」から2科目選択
外国語	「英語(リスニングを含む)」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目選択

(2) 大学入学共通テストの配点

第2次選考時に利用する大学入学共通テストの成績は、次の5教科の合計点数900点を50点満点に換算します。

教科名	国 語	地理歴史・公民	数 学	理 科	外国語	合 計
点 数	200点	100点	200点	200点	200点	900点

※ 外国語(英語)においてリスニングを免除された者については、リーディング(100点満点)を200点満点に換算して利用します。

【その他】

入学後、1年次は総合教育部で学び、2年次進級時に医学部保健学科理学療法学専攻に所属します。

(7) 医学部保健学科作業療法学専攻

【趣旨・目的】

作業療法は、障害を持つ人がその人らしい生活を作り直すことを目指すリハビリテーションです。基礎的な知識の習得はきわめて重要であります。思考の論理性・独創性もまた大切です。そこでフロンティア入試では、本当に作業療法学、リハビリテーションを専門として学びたいという学生を、学業成績とともに諸活動における成果や経験の学業以外での活動、社会活動の豊富さによって評価します。指導力や協調性を持つ学生を選ぶことが目的です。

【フロンティア入試で求める学生像】

医学部保健学科で学習するに十分な学力を持つ以下の学生

- ・人の健康について関心を持ち、深く探求する学生
- ・チャレンジ精神が旺盛な学生
- ・学業以外に対して良く努力して成果を上げた経験を持つ学生
- ・人を尊重することができ、協調性を有する学生

【募集学科等、募集人員】

学 科	専 攻	募 集 人 員
保 健 学 科	作 業 療 法 学 専 攻	7 名

※ 選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜（前期日程の学部別入試）の募集人員に加えます。

【出願資格・要件】

令和5(2023)年度大学入学共通テストの教科・科目のうち本学が指定した教科・科目（次頁の「大学入学共通テストの教科・科目と配点」を参照）をすべて受験する者で、次に掲げる資格及び要件に該当するもの

1. 資 格

次のいずれかの資格に該当すること。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和5(2023)年3月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4(2022)年4月から令和5(2023)年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和4(2022)年4月から令和5(2023)年3月までに修了又は修了見込みの者

2. 要 件

合格した場合、入学を確約できる者

【選抜方法】

調査書、個人評価書、コンピテンシー評価書（注）、自己推薦書、諸活動の記録、面接及び大学入学共通テスト等の結果を総合して合格者を決定します。

第1次選考

調査書、個人評価書、コンピテンシー評価書（注）、自己推薦書、諸活動の記録により選考を行います。

注)「コンピテンシー評価書」については、高等学校等の教員が多段階評価のうえ、専用のWebシステムで入力することとなります。入力方法や提出期限等は、39ページ「3 出願手続 (2) 出願書類等」に記載のとおりですので、「コンピテンシー評価書」を作成する教員と早期に連絡を取り、不備の無いよう準備してください。

第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、面接を行います。

さらに、令和5(2023)年度大学入学共通テストの結果も併せて総合評価します。

- ・面接：意欲、目的意識、論理性、協調性、適性、基礎学力等を問う。
- ・大学入学共通テスト：基礎学力を問うこと。

なお、大学入学共通テスト本試験の平均点が過去の水準と比べて大幅に下がった科目については、得点調整を行うことがあります。(51ページ参照)

【大学入学共通テストの教科・科目と配点】

(1) 令和5(2023)年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科名	科 目 名
国 語	「国語」
地理歴史、 公民	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「倫理、政治・経済」から1科目選択 ※2科目を受験している場合は、第1解答科目を利用します。
数 学	「数学Ⅰ・数学A」を必須とし、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目選択 ※「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。
理 科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目選択
外国語	「英語(リスニングを含む)」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目選択

(2) 大学入学共通テストの配点

第2次選考時に利用する大学入学共通テストの成績は、次の5教科の合計点数900点を50点満点に換算します。

教科名	国 語	地理歴史・公民	数 学	理 科	外国語	合 計
点 数	200点	100点	200点	200点	200点	900点

※ 外国語(英語)においてリスニングを免除された者については、リーディング(100点満点)を200点満点に換算して利用します。

【その他】

入学後、1年次は総合教育部で学び、2年次進級時に医学部保健学科作業療法学専攻に所属します。

(8) 歯学部

【趣旨・目的】

歯学部で実施するフロンティア入試では、本当に歯学、歯科医療を専門として学びたいという学生を、学業成績とともに学業以外での活動、社会との交流経験の豊富さによって評価します。「この成績なら、この辺の大学・学部に」ではなく、個性のある、様々な意味で個人的魅力のある学生を選ぶことを目的としています。

【フロンティア入試で求める学生像】

- ・基礎学力があり、歯学、歯科医療を学びたいという意欲が旺盛で、将来、大学院に進学する等、学問的向上心の強い学生
- ・何事にも積極的に取り組む意志が強く、特に高校時代にリーダーシップを発揮し、成果をあげた経験を持つ学生
- ・好奇心旺盛で、自らを啓発する志が強く、特に高校時代に受験勉強一辺倒でなく、学業以外に対してもよく努力をして相当の成果をあげている学生

【募集学科・募集人員】

学 科	募 集 人 員
歯 学 科	5 名

※ 選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜（前期日程の学部別入試）の募集人員に加えます。

【出願資格・要件】

令和5（2023）年度大学入学共通テストの教科・科目のうち本学が指定した教科・科目（次頁の「大学入学共通テストの教科・科目と配点」を参照）をすべて受験する者で、次に掲げる資格及び要件に該当するもの

1. 資 格

次のいずれかの資格に該当すること。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和5（2023）年3月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4（2022）年4月から令和5（2023）年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和4（2022）年4月から令和5（2023）年3月までに修了又は修了見込みの者

2. 要 件

次のすべての要件に該当すること。

- (1) 高等学校等で「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」及び「生物基礎・生物」のうちから2つを履修している者
（理数科にあつては、「理数物理」、「理数化学」及び「理数生物」のうち、2つを履修している者）
※ 該当科目を学校設定科目で代替している場合は、その代替科目を履修している者を含みます。
- (2) 高等学校等の学習成績概評がA以上の者
- (3) 合格した場合、入学を確約できる者

【選抜方法】

調査書、コンピテンシー評価書(注)、課題論文、面接及び大学入学共通テスト等の結果を総合して合格者を決定します。

第1次選考

調査書、コンピテンシー評価書(注)により選考を行います。

注)「コンピテンシー評価書」については、高等学校等の教員が多段階評価のうえ、専用のWebシステムで入力することとなります。入力方法や提出期限等は、39ページ「3 出願手続 (2) 出願書類等」に記載のとおりですので、「コンピテンシー評価書」を作成する教員と早期に連絡を取り、不備の無いよう準備してください。

第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、課題論文を課し、面接を行います。

- ・課題論文：読解力、論理的思考力を問う。
- ・面接：積極性、表現力、論理性、協調性、適性を問う。

ただし、令和5(2023)年度大学入学共通テストで受験を要する教科・科目の得点が、以下の条件を満たさなければ最終合格の対象となりません。(※下記の「大学入学共通テストの教科・科目と配点」を併せて参照)

- ・受験を要する教科・科目の得点の合計が合格基準点(670点)以上であること。

なお、大学入学共通テスト本試験の平均点が過去の水準と比べて大幅に下がった科目については、得点調整を行うことがあります。(51ページ参照)

【大学入学共通テストの教科・科目と配点】

(1) 令和5(2023)年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科名	科目名
国語	「国語」
地理歴史、 公民	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「倫理、政治・経済」から1科目選択 ※2科目を受験している場合は、第1解答科目を利用します。
数学	「数学Ⅰ・数学A」を必須とし、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目選択 ※「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。
理科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目選択
外国語	「英語(リスニングを含む)」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目選択

(2) 大学入学共通テストの配点

大学入学共通テストの成績は、最終合格者とするための得点条件を満たしているか否かの判定にのみ用いるものとします。(上記の「選抜方法」を参照)

教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計
点数	200点	100点	200点	200点	200点	900点

※ 外国語(英語)においてリスニングを免除された者については、リーディング(100点満点)を200点満点に換算して利用します。

【その他】

- ・入学後、1年次は総合教育部で学び、2年次進級時に歯学部にも所属します。

(9) 工学部応用理工系学科（応用マテリアル工学コース）

【趣旨・目的】

この世界を構成するすべての物質は周期表に記載された元素から成り立っています。この元素の集合体である結晶の構造をよく理解し、緻密に制御することにより無限の可能性を秘めた素材であるマテリアルが作られます。パソコンの中の電子部品から航空機までを構成するマテリアルは、世界中のさまざまな環境において人間が生活を営むために必要不可欠です。応用マテリアル工学コースの実施するフロンティア入試では、こうした元素を制御するマテリアル工学に興味をもち、将来、国際的リーダーとなる技術者・研究者を目指す学生を、学力試験の結果のみならず学問への意欲・熱意を評価し選抜することを目的としています。

【フロンティア入試で求める学生像】

- ・ 元素の性質、結晶の構造などに興味を持ち、本コースで積極的に学び、新しいマテリアル・材料をつくることを希望する学生
- ・ 基礎学力があり、将来さらに大学院まで進学し、マテリアル分野の研究者や技術者として国際的なリーダーになりたいという志望を持つ学生
- ・ マテリアル研究の実践及び発展に取り組むため、自ら積極的に実験・観察を行う学生
- ・ 国際性豊かな応用マテリアル工学コースの中で、人を尊重することができ、留学生を含む他の学生と協調的に活動できる学生

【募集学科、募集人員】

学 科	募 集 人 員
応用理工系学科（応用マテリアル工学コース）	4 名

※ 選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜（後期日程）の募集人員に加えます。

【出願資格・要件】

令和5（2023）年度大学入学共通テストの教科・科目のうち本学が指定した教科・科目（次頁の「大学入学共通テストの教科・科目と配点」を参照）をすべて受験する者で、次に掲げる資格及び要件に該当するもの

1. 資 格

次のいずれかの資格に該当すること。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和5（2023）年3月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4（2022）年4月から令和5（2023）年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 高等学校又は中等教育学校を令和4（2022）年3月に卒業した者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和3（2021）年4月から令和4（2022）年3月までに卒業した者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3（2021）年4月から令和5（2023）年3月までに修了又は修了見込みの者

2. 要 件

次のすべての要件に該当すること。

- (1) 高等学校等で、「物理」、「化学」、「生物」及び「地学」のうち、「物理」又は「化学」を含む2つを履修している者
（理数科にあっては、「理数物理」、「理数化学」、「理数生物」及び「理数地学」のうち、「理数物理」又は「理数化学」を含む2つを履修している者）

※ 該当科目を学校設定科目で代替している場合は、その代替科目を履修している者を含みます。

※ ただし、当該科目の履修が不可能な者については、当該科目を履修した者と同程度の学力を有する者とし、これに関する判断を、在籍する高等学校等の教諭が別途文書

で述べてください。

- (2) 十分な基礎学力がある者
- (3) 合格した場合、入学を確約できる者

【選抜方法】

調査書、コンピテンシー評価書(注)、自己推薦書、諸活動の記録、課題論文、面接及び大学入学共通テスト等の結果を総合して合格者を決定します。

第1次選考

調査書、コンピテンシー評価書(注)、自己推薦書、諸活動の記録により選考を行います。

注)「コンピテンシー評価書」については、高等学校等の教員が多段階評価のうえ、専用のWebシステムで入力することとなります。入力方法や提出期限等は、39ページ「3出願手続 (2)出願書類等」に記載のとおりですので、「コンピテンシー評価書」を作成する教員と早期に連絡を取り、不備の無いよう準備してください。

第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、課題論文を課し、面接を行います。

さらに、令和5(2023)年度大学入学共通テストの結果も併せて総合評価します。

・課題論文と面接 : 正確な科学的知識、論理的思考力、洞察力、作文能力、意欲、目的意識、実行力、適性を問う。

・大学入学共通テスト: 基礎学力を問う。

ただし、令和5(2023)年度大学入学共通テストで受験を要する教科・科目の得点が、以下の条件を満たさなければ最終合格の対象となりません。(※下記の「大学入学共通テストの教科・科目と配点」を併せて参照)

・受験を要する教科・科目の得点の合計が合格基準点(520点)以上であること。

なお、大学入学共通テスト本試験の平均点が過去の水準と比べて大幅に下がった科目については、得点調整を行うことがあります。(51ページ参照)

【大学入学共通テストの教科・科目と配点】

(1) 令和5(2023)年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科名	科 目 名
数 学	「数学Ⅰ・数学A」を必須とし、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目選択 ※「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。
理 科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から「物理」又は「化学」を含む2科目選択
外国語	「英語(リスニングを含む)」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目選択

(2) 大学入学共通テストの配点

合格基準点算出に用いる大学入学共通テストの配点は、以下の表のとおりとします。

なお、「数学」並びに「理科のうちの「物理」又は「化学」のいずれか得点が高い方」の2教科の合計点数400点を50点満点に換算して総合評価に利用します。

教科名	数 学	理 科	外国語	合 計
点 数	200点	200点×2	200点	800点

※ 外国語(英語)においてリスニングを免除された者については、リーディング(100点満点)を200点満点に換算して利用します。

【その他】

- ・入学後、1年次は総合教育部で学び、2年次進級時に工学部応用理工系学科(応用マテリアル工学コース)に所属します。

(10) 工学部環境社会工学科 (社会基盤学コース)

【趣旨・目的】

社会基盤学は、持続可能な未来社会の実現のために、「社会基盤施設」・「環境」・「持続可能性」・「人」を系として捉えた総合工学の基礎を学ぶ学問です。社会基盤に関係する幅広い工学分野において、将来、国際的に活躍することのできる人材の育成を目指して教育を行っています。このため、当社会基盤学コースは、世界に眼を向け、大規模国際建設プロジェクト、多発する自然災害への対策などについて、純粋で旺盛な好奇心とチャレンジスピリットを持った学生の入学を希望しています。

十分な基礎学力を有し、社会基盤に関する総合技術を探求しようとする目的意識と積極性を持った学生を対象とし、フロンティア入試を実施します。

【フロンティア入試で求める学生像】

- ・本コースで積極的に学び、社会基盤の計画、設計、管理などを通して環境保全、安全・安心な社会の創造などに貢献する意欲のある学生
- ・地域・国内のみならず地球全体というグローバルな視点から、社会基盤学の分野の研究者や技術者の国際的なリーダーとして活躍したいという希望を持つ学生
- ・社会基盤学に関する研究の実践及び発展に取り組むため、自ら積極的に実験、解析、現地調査等が行える学生
- ・国際性豊かな社会基盤学コースの中で、人を尊重することができ、留学生を含む他の学生と協調的に活動できる学生

【募集学科、募集人員】

学 科	募 集 人 員
環境社会工学科 (社会基盤学コース)	4 名

※ 選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜(後期日程)の募集人員に加えます。

【出願資格・要件】

令和5(2023)年度大学入学共通テストの教科・科目のうち本学が指定した教科・科目(次頁の「大学入学共通テストの教科・科目と配点」を参照)をすべて受験する者で、次に掲げる資格及び要件に該当するもの

1. 資 格

次のいずれかの資格に該当すること。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和5(2023)年3月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4(2022)年4月から令和5(2023)年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和4(2022)年4月から令和5(2023)年3月までに修了又は修了見込みの者

2. 要 件

次のすべての要件に該当すること。

- (1) 英語能力が、以下のいずれかの試験のカッコ内のスコア等以上である者
TOEIC L&R(550点)、TOEFL-iBT(42点)、TOEFL-ITP(460点)、実用英語技能検定(2級)
ただし、TOEIC L&R、TOEFL-iBT、TOEFL-ITPは令和2(2020)年10月1日以降に受験した試験のスコア等のみ有効とし、TOEFL-iBTについては、My Bestスコアは利用せず、Test Dateスコアのみを利用します。
- (2) 合格した場合、入学を確約できる者

【選抜方法】

調査書、コンピテンシー評価書(注)、自己推薦書、英語能力、諸活動の記録、課題論文、面接及び大学入学共通テスト等の結果を総合して合格者を決定します。

第1次選考

調査書、コンピテンシー評価書(注)、自己推薦書、英語能力、諸活動の記録により選考を行います。

ただし、英語能力は、TOEIC L&R、TOEFL-iBT、TOEFL-ITP、実用英語技能検定の試験結果を選考に利用します。

注)「コンピテンシー評価書」については、高等学校等の教員が多段階評価のうえ、専用のWebシステムで入力することとなります。入力方法や提出期限等は、39ページ「3 出願手続 (2) 出願書類等」に記載のとおりですので、「コンピテンシー評価書」を作成する教員と早期に連絡を取り、不備の無いよう準備してください。

第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、課題論文を課し、面接を行います。

- ・課題論文：正確な科学的知識、論理的思考力、洞察力、作文能力を問う。
- ・面接：意欲、目的意識、実行力、適性を問う。

ただし、令和5(2023)年度大学入学共通テストで受験を要する教科・科目の得点が、以下の条件を満たさなければ最終合格の対象となりません。(※下記の「大学入学共通テストの教科・科目と配点」を併せて参照)

- ・受験を要する教科・科目の得点の合計が合格基準点(225点)以上であること。

なお、大学入学共通テスト本試験の平均点が過去の水準と比べて大幅に下がった科目については、得点調整を行うことがあります。(51ページ参照)

【大学入学共通テストの教科・科目と配点】

(1) 令和5(2023)年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科名	科 目 名
数 学	「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」
理 科	「物理」

(2) 大学入学共通テストの配点

大学入学共通テストの成績は、最終合格者とするための得点条件を満たしているか否かの判定にのみ用いるものとします。(上記の「選抜方法」を参照)

教科名	数 学	理 科	合 計
点 数	200点	100点	300点

【その他】

- ・入学後、1年次は総合教育部で学び、2年次進級時に工学部環境社会工学科(社会基盤学コース)に所属します。

(11) 水産学部

【趣旨・目的】

水産学部は亜寒帯水圏を中心としたモニタリングにより水圏環境と水圏資源に関する知識を蓄積し、様々な問題を解決し、人類の将来に貢献するために日夜努力をつづけています。

水圏に関する様々な分野をカバーしている水産学部は、海洋・水産の分野で日本や世界をリードすることを目指して「水圏に強い関心を持ち、深く探究したい人材」を求めています。

しかし、一般選抜では、水圏にどの程度強い関心があるかを判断することは困難です。フロンティア入試によって、水圏に強い関心を持ち、将来、日本や世界をリードして人類・社会に貢献したいという人材を意欲・思考力・学力から総合的に判断します。

【フロンティア入試で求める学生像】

- ・海の物理現象や環境計測あるいは先端的生産技術を積極的に学び、持続可能な海洋生物資源の利用と保全を目指す研究者や技術者として、社会に貢献する意欲のある学生
- ・海洋生物の生態、生命現象、あるいは食料・バイオテクノロジー資源としての重要性を積極的に学び、海洋生物の持続的生産や高度な活用を目指す研究者や技術者として、社会に貢献する意欲のある学生
- ・海洋・水産・環境分野におけるグローバルな課題を積極的に学び、それらの課題解決に向け国際的に活躍する意欲のある学生

【募集学科、募集人員】

学 科	募集人員
海 洋 生 物 科 学 科	2 0 名
海 洋 資 源 科 学 科	
増 殖 生 命 科 学 科	
資 源 機 能 化 学 科	

※ 選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜（前期日程の学部別入試）の募集人員に加えます。

【出願資格・要件】

令和5(2023)年度大学入学共通テストの教科・科目のうち本学が指定した教科・科目（次頁の「大学入学共通テストの教科・科目と配点」を参照）をすべて受験する者で、次に掲げる資格及び要件に該当するもの

1. 資 格

次のいずれかの資格に該当すること。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和5(2023)年3月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4(2022)年4月から令和5(2023)年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和4(2022)年4月から令和5(2023)年3月までに修了又は修了見込みの者

2. 要 件

次のすべての要件に該当すること。

- (1) 高等学校等で「数学Ⅲ」を履修している者
(理数科にあつては、「理数数学Ⅱ」を履修している者)
※ 該当科目を学校設定科目で代替している場合は、その代替科目を履修している者を含みます。
- (2) 高等学校等で「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」及び「生物基礎・生物」のうち

から2つを履修している者

(理数科にあっては、「理数物理」、「理数化学」及び「理数生物」のうちから2つを履修している者)

※ 該当科目を学校設定科目で代替している場合は、その代替科目を履修している者を含みます。

(3) 合格した場合、入学を確約できる者

【選抜方法】

調査書、個人評価書、コンピテンシー評価書(注)、自己推薦書、諸活動の記録、面接及び大学入学共通テスト等の結果を総合して合格者を決定します。

第1次選考

調査書、個人評価書、コンピテンシー評価書(注)、自己推薦書、諸活動の記録により選考を行います。

注)「コンピテンシー評価書」については、高等学校等の教員が多段階評価のうえ、専用のWebシステムで入力することとなります。入力方法や提出期限等は、39ページ「3 出願手続 (2) 出願書類等」に記載のとおりですので、「コンピテンシー評価書」を作成する教員と早期に連絡を取り、不備の無いよう準備してください。

第2次選考

第1次選考に合格した者に対して面接を行います。

・面接：論理的思考力、目的意識、積極性(意欲)、実行力、協調性、コミュニケーション能力などを問う。

ただし、令和5(2023)年度大学入学共通テストで受験を要する教科・科目の得点が、以下の条件を満たさなければ最終合格の対象となりません。(※下記の「大学入学共通テストの教科・科目と配点」を併せて参照)

・受験を要する教科・科目の得点の合計が合格基準点(280点)以上であること。

なお、大学入学共通テスト本試験の平均点が過去の水準と比べて大幅に下がった科目については、得点調整を行うことがあります。(51ページ参照)

【大学入学共通テストの教科・科目と配点】

(1) 令和5(2023)年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科名	科目名
数 学・理 科	「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の中から3つの科目を本学出願時に選択(出願後の変更はいかなる場合も認められません。)
外国語	「英語(リーディング)」

(2) 大学入学共通テストの配点

大学入学共通テストの成績は、最終合格者とするための得点条件を満たしているか否かの判定にのみ用いるものとします。(上記の「選抜方法」を参照)

教科名	数 学・理 科	外国語	合 計
点 数	300点	100点	400点

※ 外国語(英語)の配点については、リーディング(100点満点)の得点のみを利用します。

【その他】

・入学後、1年次は総合教育部で学び、本人の志望及び学業成績により、2年次進級時に水産学部の各学科に所属します。また、2年次終了時に函館キャンパスに移行します。

<フロンティア入試Type II>

(12) 理学部数学科

【趣旨・目的】

急速に変化する社会のなかで、今世の中に存在していない新しい方法論や考え方を生み出す力や、さらに新たに生まれる課題を見出し解決する力をもつ人材が強く求められています。将来社会や大学で新しい価値の創造を担うには、主体的な行動を起こす力や新しいものごとにチャレンジしていく強い意欲とともに、基礎的な学力や技能、思考力及び判断力を有していることが重要です。

本入試においては、このような観点に立ち、新しい時代を生き抜く素養を有し、北海道大学で学びたいという強い意志を持つ学生を選抜することを目的としています。

【フロンティア入試で求める学生像】

本学科で数学を学ぶために基盤となる能力や意欲を有し、さらに以下の項目のいずれかに該当する学生

- ・高い数学的能力を有する者
- ・優れた論理的思考力と理論の展開能力を有する者
- ・本学科の教育により優れた学修成果が見込まれる者

【募集学科、募集人員】

学 科	募 集 人 員
数 学 科	1 3 名

※ 選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜（後期日程）の募集人員に加えます。

【出願資格・要件】

次に掲げる資格及び要件に該当する者

1. 資 格

次のいずれかの資格に該当すること。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和5(2023)年3月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4(2022)年4月から令和5(2023)年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 高等学校又は中等教育学校を令和4(2022)年3月に卒業した者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和3(2021)年4月から令和4(2022)年3月までに卒業した者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3(2021)年4月から令和5(2023)年3月までに修了又は修了見込みの者

2. 要 件

次のすべての要件に該当すること。

- (1) 高等学校等で「数学Ⅲ」を履修している者
(理数科にあっては、「理数数学Ⅱ」を履修している者)
※ 該当科目を学校設定科目で代替している場合は、その代替科目を履修している者を含みます。
※ 該当科目を履修した者と同等の学力を有していることを、在籍する（既卒者については卒業した）高等学校等が認め、個人評価書にその旨の記載がある者を含みます。
- (2) 合格した場合、入学を確約できる者

【選抜方法】

調査書、個人評価書、自己推薦書、適性試験及び面接の結果を総合して合格者を決定します。

第1次選考

調査書、個人評価書、自己推薦書により選考を行います。

第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、適性試験を課し、面接を行います。

- ・適性試験：基礎的な知識及び技能の他、思考力及び判断力等を評価する。
適性試験では、前半（60分）で計算を主とする数学の基本問題、後半（120分）で数学の論述問題を課す。出題範囲は以下のとおりとする。

< 共通問題 >

科目	出題範囲
数 学 150点	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B (数学Aは「場合の数と確率」、「整数の性質」、「図形の性質」、数学Bは「数列」、「ベクトル」とする。)

< 選択問題 >

科目	出題範囲
数 学 300点	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B (数学Aは「場合の数と確率」、「整数の性質」、「図形の性質」、数学Bは「数列」、「ベクトル」とする。)

- ・面接：数学的な考察力、論理的思考力、説明能力及び数学に関わる諸科学の修学への姿勢・意欲を評価する。

【その他】

- ・入学後、1年次は総合教育部で学び、2年次進級時に理学部数学科に所属します。
- ・フロンティア入試に合格し、入学手続きをした者に対して課題等を課します。内容、提出方法等の詳細は、最終合格者発表後にお知らせします。
- ・フロンティア入試に合格し、入学手続きをした者は、入学時に必要となる基礎学力を身につけてもらうため、一般選抜（後期日程）理学部数学科の「大学入学共通テストの受験を要する教科・科目」の自己採点結果を提出してもらいます。提出方法等の詳細は、最終合格者発表後にお知らせします。

(13) 理学部物理学科

【趣旨・目的】

物理学は、自然科学において理由付けに用いられ、自然界を理解するのに必須の学問分野です。理学部物理学科においては、物理学に関係する幅広い分野において、将来、国際的に活躍することのできる人材の育成を目指して教育を行っています。知的好奇心豊かに物理学を学び、未知の現象の発見や解明に強い興味を持ち、物理学の研究を通じて新たな価値を創造する意欲のある学生を選抜することを目的としています。

【フロンティア入試で求める学生像】

- ・ 知的好奇心豊かで、将来物理学における研究をする意欲を持つ学生
- ・ 研究を遂行するために必要な物理学の基本的知識と思考法を修得している学生
- ・ 物理学に関する数学的導出法や実験による検証法に強い興味を持つ学生

【募集学科、募集人員】

学 科	募 集 人 員
物 理 学 科	1 4 名

※ 選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜（後期日程）の募集人員に加えます。

【出願資格・要件】

次に掲げる資格及び要件に該当する者

1. 資 格

次のいずれかの資格に該当すること。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和5(2023)年3月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4(2022)年4月から令和5(2023)年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 高等学校又は中等教育学校を令和4(2022)年3月に卒業した者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和3(2021)年4月から令和4(2022)年3月までに卒業した者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3(2021)年4月から令和5(2023)年3月までに修了又は修了見込みの者

2. 要 件

次のすべての要件に該当すること。

- (1) 高等学校等で「数学Ⅲ」及び「物理基礎・物理」を履修している者
(理数科にあつては、「理数数学Ⅱ」及び「理数物理」を履修している者)
※ 該当科目を学校設定科目で代替している場合は、その代替科目を履修している者を含みます。
※ 既卒者については、該当科目を履修した者と同等の学力を有する者を含みます。
- (2) 合格した場合、入学を確約できる者

【選抜方法】

調査書、個人評価書、自己推薦書、適性試験及び面接の結果を総合して合格者を決定します。

第1次選考

調査書、個人評価書、自己推薦書により選考を行います。

第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、適性試験を課し、面接を行います。

- ・適性試験：基礎的な知識及び技能の他、思考力及び判断力等を評価する。
適性試験では、前半（60分）で計算を主とする数学の基本問題、後半（120分）で数学及び理科（物理・化学）の論述問題を課す。出題範囲は以下のとおりとする。

< 共通問題 >

科目	出題範囲
数 学 150点	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B (数学Aは「場合の数と確率」、「整数の性質」、「図形の性質」、数学Bは「数列」、「ベクトル」とする。)

< 選択問題 >

科目	出題範囲
数 学 60点	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B (数学Aは「場合の数と確率」、「整数の性質」、「図形の性質」、数学Bは「数列」、「ベクトル」とする。)
物 理 180点	物理基礎及び物理 (「力学」、「波動」、「熱」、「電磁気 ただし、電磁誘導は除く。)
化 学 60点	化学基礎及び化学

- ・面接：主に物理の内容に関する議論を通して論理の展開、表現、会話力を評価し、併せて英語（大学入学共通テスト（リスニングを除く）に準じた内容）の能力を筆答で確認する。ただし、以下のうち、いずれかの資格・検定試験の成績がCEFR B1レベル以上の者については、英語を免除する。

資格・検定試験名称	備 考
ケンブリッジ英語検定	
実用英語技能検定	
GTEC	
IELTS	
TOEFL-iBT (Home Edition を含む)	令和2(2020)年10月1日以降に受験した試験のスコアのみ有効
TOEIC (L&R及びS&W)	
TEAP	
TEAP CBT	令和3(2021)年4月1日以降に受験した試験のスコアのみ有効

【その他】

- ・入学後、1年次は総合教育部で学び、2年次進級時に理学部物理学科に所属します。
- ・フロンティア入試に合格し、入学手続きをした者に対して課題等を課します。内容、提出方法等の詳細は、最終合格者発表後にお知らせします。
- ・フロンティア入試に合格し、入学手続きをした者は、入学時に必要となる基礎学力を身につけてもらうため、一般選抜（後期日程）理学部物理学科の「大学入学共通テストの受験を要する教科・科目」の自己採点結果を提出してもらいます。提出方法等の詳細は、最終合格者発表後にお知らせします。

(14) 理学部化学科

【趣旨・目的】

理学部化学科においては、化学の幅広い分野において、将来、国際的に活躍することのできる研究者の育成を目指した教育を行っています。このような観点から、十分な基礎学力を有することはもちろんですが、自然の摂理を探究しようとする目的意識と積極性を持った学生の入学を希望しています。特に、物理や数理的な思考を得意としながら化学を学ぶ意欲のある学生の入学を目的としてフロンティア入試を実施します。

【フロンティア入試で求める学生像】

- ・基礎学力があり、将来、大学院に進学し、化学の基礎研究者として積極的に社会に貢献する意欲のある学生
- ・受け身ではなく、自ら目的を設定して学ぶ意欲のある学生
- ・本学科の教育により優れた学修成果が見込まれる者

【募集学科、募集人員】

学 科	募 集 人 員
化 学 科	1 1 名

※ 選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜（後期日程）の募集人員に加えます。

【出願資格・要件】

次に掲げる資格及び要件に該当する者

1. 資 格

次のいずれかの資格に該当すること。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和5(2023)年3月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4(2022)年4月から令和5(2023)年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和4(2022)年4月から令和5(2023)年3月までに修了又は修了見込みの者

2. 要 件

次のすべての要件に該当すること。

- (1) 高等学校等で「化学基礎・化学」、「物理基礎・物理」、及び「数学III」を履修している者
(理数科にあつては、「理数化学」、「理数物理」及び「理数数学II」を履修している者)
※ 該当科目を学校設定科目で代替している場合は、その代替科目を履修している者を含みます。
- (2) 合格した場合、入学を確約できる者

【選抜方法】

調査書、個人評価書、自己推薦書、適性試験及び面接の結果を総合して合格者を決定します。

第1次選考

調査書、個人評価書、自己推薦書により選考を行います。

第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、適性試験を課し、面接を行います。

- ・適性試験：基礎的な知識及び技能の他、思考力及び判断力等を評価する。
適性試験では、前半（60分）で計算を主とする数学の基本問題、後半（120分）で理科（物理・化学）の論述問題を課す。出題範囲は以下のとおりとする。

< 共通問題 >

科目	出題範囲
数 学 150点	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B (数学Aは「場合の数と確率」、「整数の性質」、「図形の性質」、数学Bは「数列」、「ベクトル」とする。)

< 選択問題 >

科目	出題範囲
物 理 150点	物理基礎及び物理 (「力学」、「波動」、「熱」、「電磁気 ただし、電磁誘導は除く。」)
化 学 150点	化学基礎及び化学

- ・面接：化学に関する思考力と判断力、及びコミュニケーション能力を評価する。

【その他】

- ・入学後、1年次は総合教育部で学び、2年次進級時に理学部化学科に所属します。
- ・フロンティア入試に合格し、入学手続きをした者に対して課題等を課します。内容、提出方法等の詳細は、最終合格者発表後にお知らせします。
- ・フロンティア入試に合格し、入学手続きをした者は、入学時に必要となる基礎学力を身につけてもらうため、一般選抜（後期日程）理学部化学科の「大学入学共通テストの受験を要する教科・科目」の自己採点結果を提出してもらいます。提出方法等の詳細は、最終合格者発表後にお知らせします。

(15) 理学部生物科学科（高分子機能学専修分野）

【趣旨・目的】

急速に変化する社会のなかで、今世の中に存在していない新しい方法論や考え方を生み出す力や、さらに新たに生まれる課題を見出し解決する力をもつ人材が強く求められています。このような中、基礎的な学力や技能、思考と判断力が重要なことは言うまでもありませんが、これに加えて、主体的な行動を起こす力や新しいものごとにチャレンジしていく強い意欲が極めて重要です。

本入試においては、このような観点に立ち、将来大学や社会での新しい価値の創造を目指し、新しい時代を生き抜く素養と、北海道大学で学びたいという強い意志を持つ学生を選抜することを目的とします。

【フロンティア入試で求める学生像】

以下の項目のいずれかに該当する学生

- ・大学で課される課題を超えて自主性を育める基礎能力と意欲を有する人物
- ・国際的視点を有し、物理・化学・生物の枠を超えて生命科学の課題に主体的に取り組める学際的人物

【募集学科、募集人員】

学 科	募 集 人 員
生物科学科（高分子機能学専修分野）	3 名

※ 選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜（後期日程）の募集人員に加えます。

【出願資格・要件】

次に掲げる資格及び要件に該当する者

1. 資 格

次のいずれかの資格に該当すること。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和5(2023)年3月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4(2022)年4月から令和5(2023)年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 高等学校又は中等教育学校を令和4(2022)年3月に卒業した者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和3(2021)年4月から令和4(2022)年3月までに卒業した者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3(2021)年4月から令和5(2023)年3月までに修了又は修了見込みの者

2. 要 件

次のすべての要件に該当すること。

- (1) 高等学校等で「数学Ⅲ」、「物理基礎・物理」及び「化学基礎・化学」のうち、「数学Ⅲ」を含む2つを履修している者
(理数科にあつては、「理数数学Ⅱ」、「理数物理」及び「理数化学」のうち、「理数数学Ⅱ」を含む2つを履修している者)

※ 該当科目を学校設定科目で代替している場合は、その代替科目を履修している者を含みます。

※ 既卒者については、該当科目を履修した者と同等の学力を有する者を含みます。

- (2) 合格した場合、入学を確約できる者

【選抜方法】

調査書、個人評価書、自己推薦書、適性試験及び面接の結果を総合して合格者を決定します。

第1次選考

調査書、個人評価書、自己推薦書により選考を行います。

第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、適性試験を課し、面接を行います。

- ・ 適性試験：基礎的な知識及び技能の他、思考力及び判断力等を評価する。
適性試験では、前半（60分）で計算を主とする数学の基本問題、後半（120分）で数学及び理科（物理・化学）の論述問題を課す。出題範囲は以下のとおりとする。

< 共通問題 >

科目	出題範囲
数 学 150点	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B (数学Aは「場合の数と確率」、「整数の性質」、「図形の性質」、数学Bは「数列」、「ベクトル」とする。)

< 選択問題 >

科目	出題範囲
数 学 50点	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B (数学Aは「場合の数と確率」、「整数の性質」、「図形の性質」、数学Bは「数列」、「ベクトル」とする。)
物 理 化 学 250点	物理基礎及び物理 (「力学」、「波動」、「熱」、「電磁気 ただし、電磁誘導は除く。') 化学基礎及び化学

- ・ 面 接：主体的な行動を起こす力や新しいものごとにチャレンジする強い意欲、英語4技能、及び生命科学に対する情熱と準備状況等を評価する。

【その他】

- ・ 入学後、1年次は総合教育部で学び、2年次進級時に理学部生物科学科（高分子機能学専修分野）に所属します。
- ・ フロンティア入試に合格し、入学手続きをした者に対して課題等を課します。内容、提出方法等の詳細は、最終合格者発表後にお知らせします。
- ・ フロンティア入試に合格し、入学手続きをした者は、入学時に必要となる基礎学力を身につけてもらうため、一般選抜（後期日程）理学部生物科学科（高分子機能学専修分野）の「大学入学共通テストの受験を要する教科・科目」の自己採点結果を提出してもらいます。提出方法等の詳細は、最終合格者発表後にお知らせします。

(16) 工学部応用理工系学科（応用物理工学コース）

【趣旨・目的】

応用物理学は、物理の基本原理・法則の探求に加え、実社会に必要とされる技術の創出と開発、物理学的視点に基づいた新しい科学領域の創成など、革新的な知のフロンティア開拓を目指す学問です。そのためには、十分な基礎学力とともに、自然科学や人間社会に対する高い関心と柔軟な発想力が必要とされます。応用物理工学コースでは、上記の素養を持った学生を選抜することを目的として、基礎学力、論理的思考力及び目的意識の高さを重視したフロンティア入試を実施します。

【フロンティア入試で求める学生像】

- ・物理学及び数学に関する十分な基礎学力があり、論理的思考能力を持つ学生
- ・自然界における物理現象の解明を志す学生
- ・人間社会に貢献できる新技術の創出に高い関心を持つ学生
- ・将来、応用物理学分野の研究者や技術者を目指す意欲のある学生

【募集学科、募集人員】

学 科	募 集 人 員
応用理工系学科（応用物理工学コース）	15名

※ 選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜（後期日程）の募集人員に加えます。

【出願資格・要件】

次に掲げる資格及び要件に該当する者

1. 資 格

次のいずれかの資格に該当すること。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和5(2023)年3月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4(2022)年4月から令和5(2023)年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 高等学校又は中等教育学校を令和4(2022)年3月に卒業した者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和3(2021)年4月から令和4(2022)年3月までに卒業した者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3(2021)年4月から令和5(2023)年3月までに修了又は修了見込みの者

2. 要 件

次のすべての要件に該当すること。

- (1) 高等学校等で「数学Ⅲ」及び「物理」を履修している者
(理数科にあつては、「理数数学Ⅱ」及び「理数物理」を履修している者)
※ 該当科目を学校設定科目で代替している場合は、その代替科目を履修している者を含みます。
※ 既卒者については、該当科目を履修した者と同等の学力を有する者を含みます。
- (2) 合格した場合、入学を確約できる者

【選抜方法】

調査書、自己推薦書、適性試験及び面接の結果を総合して合格者を決定します。

第1次選考

調査書、自己推薦書により選考を行います。

第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、適性試験を課し、面接を行います。

- ・ 適性試験：基礎的な知識及び技能の他、思考力及び判断力等を評価する。
適性試験では、前半（60分）で計算を主とする数学の基本問題、後半（120分）で数学及び理科(物理)の論述問題を課す。出題範囲は以下のとおりとする。

< 共通問題 >

科目	出題範囲
数 学 100点	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B (数学Aは「場合の数と確率」、「整数の性質」、「図形の性質」、数学Bは「数列」、「ベクトル」とする。)

< 選択問題 >

科目	出題範囲
数 学 100点	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B (数学Aは「場合の数と確率」、「整数の性質」、「図形の性質」、数学Bは「数列」、「ベクトル」とする。)
物 理 250点	物理基礎及び物理 (「力学」、「波動」、「熱」、「電磁気 ただし、電磁誘導は除く。)

- ・ 面 接：物理学の能力、コミュニケーション能力、目的意識の高さ等を問う。

【その他】

- ・ 入学後、1年次は総合教育部で学び、2年次進級時に工学部応用理工系学科（応用物理工学コース）に所属します。
- ・ フロンティア入試に合格し、入学手続きをした者に対して課題等を課します。内容、提出方法等の詳細は、最終合格者発表後にお知らせします。
- ・ フロンティア入試に合格し、入学手続きをした者は、入学時に必要となる基礎学力を身につけてもらうため、一般選抜（後期日程）工学部応用理工系学科の「大学入学共通テストの受験を要する教科・科目」の自己採点結果を提出してもらいます。提出方法等の詳細は、最終合格者発表後にお知らせします。

(17) 工学部機械知能工学科

【趣旨・目的】

機械工学は我が国における産業、経済発展に多大な貢献をしています。機械知能工学科では、自動車・航空宇宙産業における機械と情報技術の融合や、高齢化社会を見据えた医療福祉産業の振興、また、再生可能エネルギーなどによる新たなエネルギーシステムの構築、さらに、これらを実現するために必要な材料やロボット技術の開発など、新しい技術創成に貢献できる人材育成を行っています。そこで、本入試では、機械知能工学科の4本の柱である「航空宇宙」、「エネルギー」、「材料」、「医工学」に係る新技術創成を切り拓くフロンティア精神にあふれる人材を募集します。数学、物理、化学を中心とする適性試験と国際性やグローバル的視点の素養を問う面接により評価し選抜を行います。

【フロンティア入試で求める学生像】

- ・「航空宇宙」、「エネルギー」、「材料」、「医工学」に関わる新たな技術創成を通して、国際的な産業振興に貢献する意欲がある学生
- ・地球環境と工学技術の発展との関係を考慮し、環境にやさしい社会を作るための新しい技術創成に意欲のある学生
- ・様々な物事をグローバルに捉えて、その物事の問題点を明確にし、解決に向けた方策を選定し、自ら中心となりリーダーシップを持って行動できる学生

【募集学科、募集人員】

学 科	募 集 人 員
機械知能工学科	5 名

※ 選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜（後期日程）の募集人員に加えます。

【出願資格・要件】

次に掲げる資格及び要件に該当する者

1. 資 格

次のいずれかの資格に該当すること。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和5(2023)年3月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4(2022)年4月から令和5(2023)年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和4(2022)年4月から令和5(2023)年3月までに修了又は修了見込みの者

2. 要 件

次のすべての要件に該当すること。

- (1) 高等学校等で「数学Ⅲ」及び「物理基礎・物理」を履修し、かつ「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」のうち少なくとも1つを履修している者（理数科にあっては、「理数数学Ⅱ」及び「理数物理」を履修し、かつ「理数化学」、「理数生物」、「理数地学」のうち少なくとも1つを履修している者）

※ 該当科目を学校設定科目で代替している場合は、その代替科目を履修している者を含みます。

- (2) 合格した場合、入学を確約できる者

【選抜方法】

調査書、個人評価書、自己推薦書、適性試験及び面接の結果を総合して合格者を決定します。

第1次選考

調査書、個人評価書、自己推薦書により選考を行います。

第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、適性試験及び面接を行います。

- ・適性試験：数学、物理、化学に関する基礎学力を問う。
適性試験では、前半（60分）で計算を主とする数学の基本問題、後半（120分）で数学及び理科（物理・化学）の論述問題を課す。出題範囲は以下のとおりとする。

< 共通問題 >

科目	出題範囲
数 学 150点	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B (数学Aは「場合の数と確率」、「整数の性質」、「図形の性質」、数学Bは「数列」、「ベクトル」とする。)

< 選択問題 >

科目	出題範囲
数 学 100点	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B (数学Aは「場合の数と確率」、「整数の性質」、「図形の性質」、数学Bは「数列」、「ベクトル」とする。)
物 理 150点	物理基礎及び物理 (「力学」、「波動」、「熱」、「電磁気 ただし、電磁誘導は除く。)
化 学 50点	化学基礎及び化学

- ・面 接：意欲、目的意識、協調性及びコミュニケーション能力等を問う。

【その他】

- ・入学後、1年次は総合教育部で学び、2年次進級時に工学部機械知能工学科に所属します。
- ・フロンティア入試に合格し、入学手続きをした者に対して課題等を課します。内容、提出方法等の詳細は、最終合格者発表後にお知らせします。
- ・フロンティア入試に合格し、入学手続きをした者は、入学時に必要となる基礎学力を身につけてもらうため、一般選抜（後期日程）工学部機械知能工学科の「大学入学共通テストの受験を要する教科・科目」の、自己採点結果を提出してもらいます。提出方法等の詳細は、最終合格者発表後にお知らせします。

(18) 工学部環境社会工学科（環境工学コース）

【趣旨・目的】

私たちの豊かで便利な生活は健全な環境があってこそ成立します。環境工学コースでは環境をどのように評価するか、そしてどのように保全し、より豊かなものにするのかを学び、さらに研究を通じて理解を深めていきます。それらは、例えば隠れた環境問題を見出し解決への方策を提示する能力、革新的な環境浄化技術、省エネルギー技術、資源循環技術です。環境問題の解決には、広い分野の先端技術と知識を高度に統合する必要があります。環境に興味をもち、将来、国内外でリーダーやスペシャリストとして活躍できる技術者や研究者を目指す学生を、学力試験の結果のみならず意欲や熱意を評価し選抜することを目的としています。

【フロンティア入試で求める学生像】

- ・数学、理科、英語の基礎力があり、広い分野の技術に興味を持っている学生
- ・知的好奇心が旺盛で、異分野横断研究を推進する行動力のある学生
- ・地球規模や地域の環境問題の解決に貢献したいと思っている学生
- ・生活環境の改善に貢献したいと思っている学生
- ・北海道大学工学部環境社会工学科環境工学コースを第一志望としている学生

【募集学科、募集人員】

学 科	募 集 人 員
環境社会工学科（環境工学コース）	5 名

※ 選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜（後期日程）の募集人員に加えます。

【出願資格・要件】

次に掲げる資格及び要件に該当する者

1. 資 格

次のいずれかの資格に該当すること。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和5(2023)年3月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4(2022)年4月から令和5(2023)年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 高等学校又は中等教育学校を令和4(2022)年3月に卒業した者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和3(2021)年4月から令和4(2022)年3月までに卒業した者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3(2021)年4月から令和5(2023)年3月までに修了又は修了見込みの者

2. 要 件

合格した場合、入学を確約できる者

【選抜方法】

調査書、個人評価書、自己推薦書、適性試験及び面接の結果を総合して合格者を決定します。

第1次選考

調査書、個人評価書、自己推薦書により選考を行います。

第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、適性試験及び面接を行います。

- ・適性試験：基礎的な知識及び技能の他、思考力及び判断力等を評価する。適性試験では、前半（60分）で計算を主とする数学の基本問題、後半（120分）で数学及び理科（物理・化学）の論述問題を課す。出題範囲は以下のとおりとする。

< 共通問題 >

科目	出題範囲
数 学 150点	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B (数学Aは「場合の数と確率」、「整数の性質」、「図形の性質」、数学Bは「数列」、「ベクトル」とする。)

< 選択問題 >

科目	出題範囲
数 学 物 理 化 学 300点*	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B (数学Aは「場合の数と確率」、「整数の性質」、「図形の性質」、数学Bは「数列」、「ベクトル」とする。)
	物理基礎及び物理 (力学)、「波動」、「熱」、「電磁気 ただし、電磁誘導は除く。)
	化学基礎及び化学

※ 選択問題では、以下 a～bのいずれかの組み合わせで問題を選択し、解答する。

- a …… 数学3問の内から1問（100点）、物理3問と化学3問の計6問の内から4問（200点）
- b …… 数学3問の内から2問（200点）、物理3問の内から1問（50点）、化学3問の内から1問（50点）

- ・面 接：これまでの活動や勉強への意欲、大学生活への抱負、将来の目標などを問いながら、主体的な行動を起こす力や新しいものごとにチャレンジする強い意欲を評価する。さらに、調査書、個人評価書、自己推薦書の内容とコミュニケーション能力を評価する。

【その他】

- ・入学後、1年次は総合教育部で学び、2年次進級時に工学部環境社会工学科（環境工学コース）に所属します。
- ・フロンティア入試に合格し、入学手続きをした者に対して課題等を課します。内容、提出方法等の詳細は、最終合格者発表後にお知らせします。
- ・フロンティア入試に合格し、入学手続きをした者は、入学時に必要となる基礎学力を身につけてもらうため、一般選抜（後期日程）工学部環境社会工学科の「大学入学共通テストの受験を要する教科・科目」の自己採点結果を提出してもらいます。提出方法等の詳細は、最終合格者発表後にお知らせします。

3 出願手続

(1) 出願期間

<フロンティア入試Type I・Type II 共通>

令和4(2022)年9月30日(金)10時～10月6日(木)17時まで(期間内必着)

※ インターネット出願登録は令和4(2022)年9月22日(木)10時から事前登録が可能ですが、郵送受付は上記期間に限ります。

※ フロンティア入試、国際総合入試、帰国子女入試は試験日が同一のため、併願できません。

北海道大学出願登録サイト <https://e-apply.jp/ds/hokudai-gakubu1-jpn/>



(2) 出願書類等

学部・学科等 出願書類等	Type I										Type II						
	理学部地球惑星科学科	医学部					歯学部	工学部		水産学部	理学部			工学部			
		医学科	保健学科(看護学専攻)	保健学科(放射線技術科学専攻)	保健学科(検査技術科学専攻)	保健学科(理学療法学専攻)		保健学科(作業療法学専攻)	応用理工系学科(応用マテリアル工学コース)		環境社会工学科(社会基盤学コース)	数学科	物理学科	化学科	生物科学科(高分子機能学専修分野)	応用理工系学科(応用物理学コース)	機械知能工学科
ア 入学願書・写真票	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
イ ★ 調査書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ウ ★ 学業に関する資料	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
エ ★ 個人評価書	-	-	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	-	○	○
オ ★ コンピテンシー評価書	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	○※	-	-	-	-
カ 自己推薦書	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
キ 諸活動の記録	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-
ク 英語能力に関する証明書	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○ 該当者のみ	-	-	-	-
ケ 地学オリンピック日本委員会の発行する個人成績証明書	○ 該当者のみ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
コ 検定料(17,000円)	出願登録期間に払込み										出願登録期間に払込み						
サ 大学入学共通テスト成績請求票	△	△	▲	▲	▲	▲	▲	△	▲	△	△	-	-	-	-	-	-

「○」= 提出期間(令和4年9月30日(金)～10月6日(木))

★印は、所属学校等が作成する書類

※印は、Webシステムによるコンピテンシー評価の入力あり

「△」= (第2次選考合格者のみ) 提出期間(令和4年12月12日(月)～12月19日(月))

「▲」= (第1次選考合格者のみ) 提出期間(令和4年12月12日(月)～12月19日(月))

出願書類等	留 意 事 項
ア 入学願書 写真票	インターネット出願登録サイトにて、必要事項を入力するとともに、出願前3か月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向きのカラー写真データ（10MBまで）をアップロードしてください。検定料納入後に、インターネット出願登録サイトから、A4サイズ（縦）でカラー印刷してください。
イ 調査書	出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 なお、出願要件の必修科目を学校設定科目で代替している場合は、その旨を「備考」欄に明記してください。（例：「物理基礎・物理」の学習内容を「(学校設定科目名)」で実施）
ウ 学業に関する 資料	所定様式をフロンティア入試ホームページ (https://www.hokudai.ac.jp/admission/faculty/ao/) からダウンロードして高等学校の教諭等が作成し、「イ.調査書」に同封してください。
エ 個人評価書	志願する学部・学科等の所定様式をフロンティア入試ホームページ (https://www.hokudai.ac.jp/admission/faculty/ao/) からダウンロードして高等学校の教諭等が作成し、厳封したものを提出してください。
オ コンピテンシー 評価書	<p>コンピテンシー評価書については、高等学校等の教諭等が専用のWebシステムで作成します。作成・提出方法は以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① [高等学校等の教諭等] Webシステム利用申請 (令和4(2022)年9月1日(木)～9月22日(木)) 下記アドレス宛にメールで申請してください。その際、申請する教諭等の「氏名」「所属」をメール本文に記載してください。 申請先：北海道大学入試課 (adm-system@academic.hokudai.ac.jp) ② [本学入試課] ID・パスワードの発行（申請内容確認後、7日以内） 申請内容を確認の後、申請者の高等学校等宛に郵送（封書）によりWebシステムへのアクセス方法、ID、パスワードを通知します。 ③ [高等学校等の教諭等] 専用のWebシステムによる入力 ④ [高等学校等の教諭等] コンピテンシー評価書の発行 コンピテンシー評価を入力後、Webシステムから出力される「コンピテンシー評価書」を印刷し、厳封して志願者に渡してください。 ⑤ [志願者] 出願書類の提出（令和4(2022)年10月6日(木)）17時必着 高等学校等から受領した「コンピテンシー評価書」を他の出願書類と共に期限までに本学宛提出してください。 <p>※ 上記のとおり発行までに時間を要するので、志願者はなるべく早めに高等学校等の教諭等に相談してください。</p>
カ 自己推薦書	志願する学部・学科等の所定様式をフロンティア入試ホームページ (https://www.hokudai.ac.jp/admission/faculty/ao/) からダウンロードして志願者本人が記入してください。
キ 諸活動の記録	<p>志願する学部・学科等の所定様式をフロンティア入試ホームページ (https://www.hokudai.ac.jp/admission/faculty/ao/) からダウンロードして志願者本人が作成してください。</p> <p>資料を添付する場合はA4サイズの用紙を使用し、それぞれ1枚目の右上に資料番号を記入してください。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策の影響により当初、参加予定であった大会（資格・検定試験含む）等に参加できなくなった場合は、大会（資格・検定試験）の名称と、それに向けてどのような目標を設定し、どのように努力をしたかを記入してください。</p>

出願書類等	留 意 事 項																													
ク 英語能力に関する 証明書(原本)	<p>【理学部地球惑星科学科志願者のみ提出】 下表のうち、いずれかの試験の成績証明書等を提出してください。</p> <table border="1" data-bbox="529 293 1385 461"> <thead> <tr> <th>資格・検定試験名称</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TOEIC L&R</td> <td>令和2(2020)年10月1日以降に受験した試験のスコアのみ有効</td> </tr> <tr> <td>実用英語技能検定</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【工学部環境社会工学科(社会基盤学コース)志願者のみ提出】 下表のうち、いずれかの試験の成績証明書等を提出してください。</p> <table border="1" data-bbox="529 555 1385 757"> <thead> <tr> <th>資格・検定試験名称</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TOEIC L&R</td> <td rowspan="3">令和2(2020)年10月1日以降に受験した試験のスコアのみ有効</td> </tr> <tr> <td>TOEFL-iBT(Home Editionを含む Test Dateスコアを使用) ※</td> </tr> <tr> <td>TOEFL-ITP</td> </tr> <tr> <td>実用英語技能検定</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【理学部物理学科志願者のうち、該当者のみ提出】 第2次選考の面接における英語の筆答問題の免除を希望する場合は、以下のうち、いずれかの試験の成績証明書等(CEFR B1レベル以上)を提出してください。</p> <table border="1" data-bbox="529 913 1385 1245"> <thead> <tr> <th>資格・検定試験名称</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケンブリッジ英語検定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実用英語技能検定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>GTEC</td> <td rowspan="3">令和2(2020)年10月1日以降に受験した試験のスコアのみ有効</td> </tr> <tr> <td>IELTS</td> </tr> <tr> <td>TOEFL-iBT(Home Editionを含む) ※</td> </tr> <tr> <td>TOEIC (L&R及びS&W)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>TEAP</td> <td rowspan="2">令和3(2021)年4月1日以降に受験した試験のスコアのみ有効</td> </tr> <tr> <td>TEAP CBT</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ TOEFL-iBTはInstitutional Score ReportをETSから本学へ直接送付されるように手配するか、あるいはTest Taker Score(原本)を郵送で提出してください。Institution Codeは0362です。</p>	資格・検定試験名称	備考	TOEIC L&R	令和2(2020)年10月1日以降に受験した試験のスコアのみ有効	実用英語技能検定		資格・検定試験名称	備考	TOEIC L&R	令和2(2020)年10月1日以降に受験した試験のスコアのみ有効	TOEFL-iBT(Home Editionを含む Test Dateスコアを使用) ※	TOEFL-ITP	実用英語技能検定		資格・検定試験名称	備考	ケンブリッジ英語検定		実用英語技能検定		GTEC	令和2(2020)年10月1日以降に受験した試験のスコアのみ有効	IELTS	TOEFL-iBT(Home Editionを含む) ※	TOEIC (L&R及びS&W)		TEAP	令和3(2021)年4月1日以降に受験した試験のスコアのみ有効	TEAP CBT
資格・検定試験名称	備考																													
TOEIC L&R	令和2(2020)年10月1日以降に受験した試験のスコアのみ有効																													
実用英語技能検定																														
資格・検定試験名称	備考																													
TOEIC L&R	令和2(2020)年10月1日以降に受験した試験のスコアのみ有効																													
TOEFL-iBT(Home Editionを含む Test Dateスコアを使用) ※																														
TOEFL-ITP																														
実用英語技能検定																														
資格・検定試験名称	備考																													
ケンブリッジ英語検定																														
実用英語技能検定																														
GTEC	令和2(2020)年10月1日以降に受験した試験のスコアのみ有効																													
IELTS																														
TOEFL-iBT(Home Editionを含む) ※																														
TOEIC (L&R及びS&W)																														
TEAP	令和3(2021)年4月1日以降に受験した試験のスコアのみ有効																													
TEAP CBT																														
ケ 地学オリンピック 日本委員会の発行 する個人成績証明 書(原本)	<p>【理学部地球惑星科学科の志願者のうち、該当者のみ提出】 日本地学オリンピック大会における過去2年間の予選(1次選抜)通過者のうち、第2次選考において総合問題の免除を希望する者のみ提出してください。</p>																													
コ 検定料 (17,000円)	<p>【検定料の払込方法】 検定料は、インターネット出願登録後に表示される支払手続き画面に従い、支払ってください。支払方法は以下のとおりです。 (43ページ「(3)②支払い方法の選択、検定料の支払い」を参照)</p> <ol style="list-style-type: none"> a. クレジットカードによる支払い (VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS等) b. 郵便局、銀行ATM、ネットバンキング、コンビニエンスストアによる支払い(日本国内のみ) c. 中国銀聯網決済(ChinaPay)による支払い <p>注1) 普通為替や現金では受理できません。 注2) 支払い後に受け取るお客様控え又は支払完了通知メールは、本人の控えとして保管してください。 注3) 出願登録の際、検定料とは別に事務手数料(500円)がかかります。</p>																													

<p>コ 検定料 (17,000円)</p>	<p>【検定料の返還】</p> <p>1. 第1次選考の不合格者には、検定料17,000円のうち13,000円を返還します。返還方法の詳細は、本学ホームページにおいて第1次選考結果とともに掲載します。</p> <p>2. 上記1. に該当する場合の他は、次の場合を除き、いかなる理由があっても振込済の検定料は返還できません。</p> <p>①検定料の返還ができるもの</p> <p>(ア) 検定料を振り込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった）場合</p> <p>(イ) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合</p> <p>(ウ) 検定料を振り込み、出願書類を提出したが受理されなかった場合</p> <p>②返還請求の方法</p> <p>[上記「検定料の返還」2. ①(ア)及び(イ)に該当する場合]</p> <p>(1)返還請求の理由、(2)志願者氏名（署名捺印）、(3)氏名フリガナ、(4)現住所、(5)連絡先電話番号、(6)出願時受付番号（12桁）、(7)返還先の銀行名・支店名・口座種別・口座番号・口座名義（フリガナ）を明記した検定料返還請求書（様式は問いませんがA4サイズの用紙を使用してください。）を作成し、必ず検定料を支払ったことを証明する書類と返還先口座通帳（口座番号・口座名義が記載されているページ）の写しを添付して、速やかに以下の送付先へ郵送してください。なお、払い戻しには相当の日数がかかります。</p> <p>[上記「検定料の返還」2. ①(ウ)に該当する場合]</p> <p>本学から、別途返還に必要な書類を送付します。</p> <p>◇返還請求に係る送付先</p> <p>〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目 北海道大学財務部経理課収入担当</p> <p>◇返還請求に係る問合せ先</p> <p>北海道大学財務部経理課収入担当へメールでお問合せください。メールには出願時受付番号(12桁)及び氏名(アルファベット表記及びフリガナ)を記載願います。</p> <p>メールアドレス：syunyu@finance.hokudai.ac.jp</p>
<p>サ 大学入学共通 テスト成績 請求票[国公立 総合型選抜用]</p>	<p>【理学部地球惑星科学科、医学部医学科、歯学部、工学部環境社会工学科(社会基盤学コース)、水産学部の第2次選考合格者】</p> <p>【医学部保健学科、工学部応用理工系学科(応用マテリアル工学コース)の第1次選考合格者】</p> <p>大学入試センターから発行される令和5(2023)年度大学入学共通テスト受験票の「成績請求票(国公立総合型選抜用)」を切り離し、専用の「貼り付け台紙(59ページに添付)」に貼り付けて、出願書類提出先へ簡易書留で郵送してください。</p> <p>提出期間：令和4(2022)年12月12日(月)から 令和4(2022)年12月19日(月)17時まで(期間内必着)</p>

(3) 出願方法

① インターネット出願登録

- a. 出願登録期間中に北海道大学インターネット出願登録サイト (<https://e-apply.jp/ds/hokudai-gakubu1-jpn/>) にアクセスしてください。

注1) 事前に操作手順や注意事項を必ず確認してください。

注2) 本サイトの利用に当たり、必要書類の出力及び検定料支払いの完了メールを受信するため、カラープリンター及びメールアドレスが必要となります。

- b. 画面のガイダンスに従い必要事項を選択、入力してください。

② 支払い方法の選択、検定料の支払い

インターネット出願登録後に表示される支払手続き画面に従い、次のa～cのいずれかの方法により支払ってください。なお、支払機関により支払いに必要な情報や方法が異なりますので、画面の説明を必ず確認してください。

- a. クレジットカードによる支払い

「カード番号」「有効期限」「カード確認番号」を入力してください。

- b. 郵便局、銀行ATM、ネットバンキング、コンビニエンスストアによる支払い(日本国内のみ)

【郵便局・銀行ATMの場合】

「収納機関番号」「お客様番号」「確認番号」を持参し、Pay-easy対応ATMで支払ってください。

【ネットバンキングの場合】

各種ネットバンキングの手順に従い、支払ってください。

【コンビニエンスストアの場合】

「振込票番号」「お客様番号」「確認番号」及び「オンライン決済番号」を持参し、コンビニエンスストアで支払ってください。(日本国内のセブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、デイリーヤマザキ、セイコーマートにて利用可能です。)

- c. 中国銀聯網決済(ChinaPay)による支払い

各銀行の支払画面にて、「銀行口座番号」「有効期限」「パスワード」などの支払い情報を入力し、支払ってください

注) 出願時に日本国外に在住する者で、上記の方法により支払いができない場合は、日本国内の知人等に依頼して支払ってください。

③ 出願書類等の郵送

検定料の支払後に届くメール内のURL又は出願登録サイトの「出願内容を確認する」から願書(PDF)を印刷し、その他出願に必要な書類(39～42ページの「(2)出願書類等」と併せて封筒に入れ、願書と一緒に印刷される宛名ラベルを封筒に貼り、必ず「書留」(日本国外から発送する場合はEMS、DHL、Fedex等(封筒に「フロンティア入試出願書類」と明記))とし、出願期限(令和4(2022)年10月6日(木)17時)までに到着するように郵送してください。なお、直接持参しても受理しません。

すべての書類が本学に到着し受理された時点で出願手続きが完了します。インターネット出願登録だけでは出願手続きは完了しませんので、ご注意ください。

注) 令和4(2022)年10月6日(木)17時以降に到着した出願書類は受理しませんので、郵便事情等を考慮して余裕をもって発送してください。なお、必要に応じて「速達書留」としてください。

インターネット出願登録（操作手順及び支払方法）に関する問合せ

(1) 問合せ方法

電話又は電子メールによることとします。

(2) 問合せ先

「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター

電話：0120-202079

受付時間：平日10：00～17：00(年末年始休み)

問合せフォーム：<https://e-apply.jp/e/support/>

(4) 留意事項

- ① 出願書類等に不備がある場合は受理できませんので、誤記、記入漏れのないように注意してください。
- ② 出願後に志願する学部・学科・専攻等を変更することはいかなる理由があっても認めません。
- ③ 出願後に入学願書等の住所に変更があった場合は下記担当に速やかに連絡してください。
- ④ いったん受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑤ 出願書類等に虚偽の記載が発見された場合は、入学許可を取り消すことがあります。

入学試験に関する問合せ

(1) 問合せ方法

電子メール又は電話によることとします。

また、出願後の問合せに際しては、志願した学部・学科・専攻・コース等を明示してください。

(2) 問合せ先

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目 北海道大学学務部入試課

E-mail：exam2@academic.hokudai.ac.jp

電話：(011) 706-7484 (平日8：30～17：00(年末年始休み))

(3) 北海道大学ホームページURL

<https://www.hokudai.ac.jp/>

※ 特定非常災害で被災された本学学部志願者への受験支援金の給付

特定非常災害により、被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

北海道大学では、特定非常災害で被災された方への支援として、受験支援金給付の特別措置を講じます。

申請方法等の詳細につきましては、決定次第、本学ホームページ

(<https://www.hokudai.ac.jp/admission/faculty/jukenshien/>)にてお知らせします。

4 受験上の配慮について

本学への受験に際し、疾病や負傷、障害等のために受験上の配慮を希望する場合は、「①出願前」と「②出願時」にそれぞれ書類を提出する必要があります。詳細は以下のWebサイトをご確認ください。

注) 日常生活において使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定等の対応の関係から必ず申請してください。

◆ 北海道大学ホームページ

トップメニュー > 入学案内 > 学部入試 >
障害等のある志願者への受験上の配慮 (申請様式等)

<https://www.hokudai.ac.jp/admission/faculty/special-assistance/>

① 出願前手続き

提出書類：「障害等のある志願者の受験上の配慮申請書」及び診断書等必要書類
提出期限：令和4(2022)年9月9日(金) 必着【厳守】

② 出願時手続き (出願書類に同封して提出)

提出書類：「障害等のある志願者の受験上の配慮申請済届」
提出期間：令和4(2022)年9月30日(金)～10月6日(木) 17時必着【厳守】
※ 配慮内容を検討する際にご連絡することがあります。

③ 配慮事項決定通知書の送付

本学より申請内容に基づき提供する配慮内容に関し通知します。

◆ 本件連絡先 (相談窓口)

北海道大学学務部入試課
TEL 011-706-7484 (平日9:00～17:00 (年末年始休み))
Email admission@academic.hokudai.ac.jp

※ 希望する配慮事項により検討に時間がかかりますので、早めに申請してください。
※ 怪我等により、急遽受験上の配慮を要する事由が生じた場合は、期限後も申請を受け付けます。ただし、期限後の申請の場合、配慮が十分に提供できないことがありますのでご了承ください。

区 分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害 者	両眼の矯正視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚 障 害 者	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢 体 不 自 由 者	1 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱 者	1 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
そ の 他	上記以外で、受験上、修学上特別の配慮を必要とする程度の機能障害を有するもの

(注 学校教育法施行令第22条の3の規定に準拠した。)

5 入学者選抜方法

(1) 第1次選考

出願書類により評価します。

(2) 第2次選考

第1次選考の合格者に対して第2次選考を行います。

<フロンティア入試Type I>

- ・課題論文(総合問題)及び面接等の結果を総合評価します。
- ・課題論文及び総合問題において与えられる文章には、高等学校等で学習した内容(英文、数式、理科の公式など)を含むことがあります。
- ・面接では、口頭試問等を含む基礎学力の判定も行います。
- ・大学入学共通テストの結果を最終合格者の判定に利用します。

<フロンティア入試Type II>

- ・適性試験及び面接等の結果を総合評価します。
- ・適性試験は、各募集単位が指定する数学・理科に係る分野から出題します。
- ・面接では、口頭試問等を含む基礎学力の判定も行います。

6 配点

<フロンティア入試 Type I >

学部・学科等	第1次選考		第2次選考 ※2	
(1) ※1 理学部地球惑星科学科	調査書 自己推薦書	75点	総合問題又は日本地学オリンピック大会予選(1次選抜)の結果	75点
	コンピテンシー評価書	25点	面接	25点
(2) 医学部医学科	調査書	20点	課題論文	40点
	コンピテンシー評価書	80点	面接 コンピテンシー評価書	60点
(3) 医学部保健学科 看護学専攻	調査書 個人評価書 コンピテンシー評価書	50点	面接	50点
	自己推薦書 諸活動の記録	50点	大学入学共通テスト	50点
(4) 医学部保健学科 放射線技術科学専攻	調査書 個人評価書 自己推薦書 諸活動の記録	50点	面接	50点
	コンピテンシー評価書	50点	大学入学共通テスト	50点
(5) 医学部保健学科 検査技術科学専攻	調査書 個人評価書 コンピテンシー評価書	50点	面接	40点
	自己推薦書 諸活動の記録	50点	大学入学共通テスト	60点
(6) 医学部保健学科 理学療法学専攻	調査書 個人評価書 コンピテンシー評価書	60点	面接	50点
	自己推薦書 諸活動の記録	40点	大学入学共通テスト	50点
(7) 医学部保健学科 作業療法学専攻	調査書	20点	面接 (第1次選考の合計点の 1/5を含む)	50点
	個人評価書	20点		
	自己推薦書	20点		
	諸活動の記録	20点		
(8) 歯学部	調査書	20点	課題論文	50点
	コンピテンシー評価書	80点	面接	50点
(9) 工学部応用理工系学科 (応用マテリアル工学コース)	調査書	60点	課題論文 面接	50点
	コンピテンシー評価書 自己推薦書 諸活動の記録	40点	大学入学共通テスト	50点
(10) 工学部環境社会工学科 (社会基盤学コース)	調査書	50点	課題論文	50点
	コンピテンシー評価書 自己推薦書 英語能力 諸活動の記録	50点	面接	50点
(11) 水産学部	調査書 個人評価書 コンピテンシー評価書	50点	面接	100点
	自己推薦書 諸活動の記録	50点		

※1 理学部地球惑星科学科においては、日本地学オリンピック大会における過去2年間の予選（1次選抜）通過者で総合問題の免除を希望する者については、日本地学オリンピック大会予選（1次選抜）の結果を総合問題の点数に換算します。

※2 フロンティア入試Type Iは、すべての学部・学科等において「大学入学共通テスト」の結果を利用して最終合格者を決定します。詳細は、各学部・学科等の「大学入学共通テストの教科・科目と配点（3～24ページ）」を参照してください。

<フロンティア入試 Type II >

学部・学科等	第1次選考		第2次選考	
(12) 理学部数学科	調査書 個人評価書	70点	適性試験	450点
	自己推薦書	30点	面接	150点
(13) 理学部物理学科	調査書 個人評価書	80点	適性試験	450点
	自己推薦書	20点	面接	250点
(14) 理学部化学科	調査書 個人評価書	70点	適性試験	450点
	自己推薦書	30点	面接	100点
(15) 理学部生物科学科 (高分子機能学専修分野)	調査書 個人評価書	70点	適性試験	450点
	自己推薦書	30点	面接	300点
(16) 工学部応用理工系学科 (応用物理工学コース)	調査書	90点	適性試験	450点
	自己推薦書	10点	面接	50点
(17) 工学部機械知能工学科	調査書 個人評価書	70点	適性試験	450点
	自己推薦書	30点	面接	200点
(18) 工学部環境社会工学科 (環境工学コース)	調査書 個人評価書	60点	適性試験	450点
	自己推薦書	40点	面接	200点

7 受験番号の通知

(1) 日 時

令和4(2022)年10月下旬

(2) 通知方法

本学において出願書類を受理した後、インターネット出願サイトを通じて受験番号を通知します。出願時に登録したメールアドレスに受験番号の確認方法をお知らせしますので、メールの指示に従って受験番号を確認してください。

8 第1次選考結果の発表

(1) 日 時

令和4(2022)年11月4日(金)16時(予定)

(2) 通知方法

第1次選考合格者の受験番号を本学ホームページ (<https://www.hokudai.ac.jp/>) に掲載します。(電話・電子メール等による問合せには、一切応じません。)

9 受験票の発行

(1) 日 時

第1次選考結果発表後、令和4(2022)年11月7日(月)17時までに掲載

(2) 通知方法

第1次選考合格者は、インターネット出願登録サイトで「受験票(受験番号、試験場及び受験者心得等記載)」をダウンロードすることができるようになります。

出願時に登録したメールアドレス宛に受験票掲載のお知らせを送信しますので、メールの指示に従って受験票をダウンロードし、第2次選考当日、印刷した受験票と身分証(学生証など)を持参してください。

10 第2次選考の日時・会場

学部・学科等		令和4(2022)年11月20日(日)			
		諸注意	課題論文等	面接	会 場
(1)	理学部地球惑星科学科	9:45～10:00 (15分)	10:00～12:00 (120分)	13:30～	※北海道大学 札幌キャンパス
(2)	医学部医学科	8:45～9:00 (15分)	9:00～10:00 (60分)	10:15～	
(3)	医学部保健学科 看護学専攻	9:00～9:15 (15分)		9:30～	
(4)	医学部保健学科 放射線技術科学専攻	9:00～9:15 (15分)		9:30～	
(5)	医学部保健学科 検査技術科学専攻	9:00～9:15 (15分)		9:30～	
(6)	医学部保健学科 理学療法学専攻	9:00～9:15 (15分)		9:30～	
(7)	医学部保健学科 作業療法学専攻	9:00～9:15 (15分)		9:30～	
(8)	歯 学 部	9:15～9:30 (15分)	9:30～12:00 (150分)	13:30～	
(9)	工学部応用理工系学科 (応用マテリアル工学コース)	9:15～9:30 (15分)	9:30～11:30 (120分)	13:30～	
(10)	工学部環境社会工学科 (社会基盤学コース)	9:15～9:30 (15分)	9:30～11:30 (120分)	13:30～	
(11)	水 産 学 部	9:00～9:20 (20分)		9:30～	※北海道大学 函館キャンパス

学部・学科等		令和4(2022)年11月20日(日)			
		諸注意	課題論文等	面接	会場
(12)	理学部数学科	8:45～9:00 (15分)	適性試験 (共通問題) 9:00～10:00 (60分) (選択問題) 10:30～12:30 (120分)	13:30～	※北海道大学 札幌キャンパス
(13)	理学部物理学科			13:30～	
(14)	理学部化学科			13:30～	
(15)	理学部生物科学科 (高分子機能学専修分野)			13:30～	
(16)	工学部応用理工系学科 (応用物理工学コース)			13:30～	
(17)	工学部機械知能工学科			13:30～	
(18)	工学部環境社会工学科 (環境工学コース)			13:30～	

- ※ 集合時刻や会場等の詳細は、第1次選考結果発表後、受験票に記載してお知らせします。
- ※ 理学部地球惑星科学科の総合問題免除者は、他の受験者とは集合時刻等が異なりますので、該当者には別途メールで連絡します。
- ※ 水産学部は、受験者数に応じて集合時刻を変更する場合があります。変更後の集合時刻は受験票に記載してお知らせします。
- ※ 不測の事態により試験時間等を変更する場合は、北海道大学ホームページ(<https://www.hokudai.ac.jp/>)に随時情報を掲載してお知らせします。

11 第2次選考結果の発表

<フロンティア入試Type I 理学部地球惑星科学科、医学部医学科、歯学部、工学部環境社会工学科(社会基盤学コース)、水産学部のみ>

(1) 日 時

令和4(2022)年12月8日(木)16時(予定)

(2) 通知方法

第2次選考合格者の受験番号を、同日16時頃、本学ホームページ(<https://www.hokudai.ac.jp/>)に掲載します。(電話・電子メール等による問合せには、一切応じません。)

なお、最終合格者は大学入学共通テストの結果を利用して決定し、令和5(2023)年2月14日(火)に発表します。

12 大学入学共通テスト成績請求票の提出

<フロンティア入試Type Iのみ>

大学入試センターから発行される令和5(2023)年度大学入学共通テスト受験票の「成績請求票(国公立総合型選抜用)」を切り離し、専用の「貼り付け台紙(本冊子59ページ添付)」に貼り付けて、簡易書留郵便で提出してください。

(1) 対象者

- 理学部地球惑星科学科、医学部医学科、歯学部、工学部環境社会工学科(社会基盤学コース)、水産学部の第2次選考合格者
- 医学部保健学科、工学部応用理工系学科(応用マテリアル工学コース)の第1次選考合格者

(2) 提出期間

令和4(2022)年12月12日(月)から
令和4(2022)年12月19日(月)17時まで(期間内必着)

(3) 宛 先

〒060-0817札幌市北区北17条西8丁目
北海道大学学務部入試課 宛

13 大学入学共通テストの得点調整

<フロンティア入試Type Iのみ>

大学入学共通テスト本試験の平均点が過去の水準と比べて大幅に下がった科目については、得点調整を行うことがあります。ただし、受験者数が1万人未満の科目は得点調整の対象としません。

得点調整の実施の有無は、令和5(2023)年2月7日(火)16時(予定)に本学ホームページで発表します。

14 最終合格者の発表

(1) 日 時

<フロンティア入試Type I>

令和5(2023)年2月14日(火) 16時(予定)

<フロンティア入試Type II>

令和4(2022)年12月8日(木) 16時(予定)

(2) 通知方法

本学ホームページ (<https://www.hokudai.ac.jp/>) に合格者受験番号を掲載するとともに、合格者に対し合格通知書及び入学手続き関係書類を郵送します。

(合格発表後に速達郵便等で発送するため、到着までに2~3日かかることがあります。)

なお、電話・電子メール等による可否に関する問合せには、一切応じません。

15 入学手続

(1) 入学手続期間

<フロンティア入試Type I>

令和5(2023)年2月15日(水)から令和5(2023)年2月20日(月)17時まで(期間内必着)

<フロンティア入試Type II>

令和4(2022)年12月12日(月)から令和4(2022)年12月15日(木)17時まで(期間内必着)

(2) 入学手続時に要する経費

入学料 282,000円(予定額)

① 入学料は、本学所定の振込用紙(合格通知に同封)を使用して銀行等(ゆうちょ銀行を含む)の窓口で振り込んでください。(振込手数料は振込者の負担となります。)

なお、ATM(現金自動預払機)は利用しないでください。

② 振り込んだ入学料は、入学手続完了者には返還できません。

③ 入学料減免希望者は、54ページを参照してください。

なお、入学料減免申請者は、入学手続きの際に入学料を振り込まないでください。

※ 授業料について

- ① 令和5(2023)年度授業料納入金額(前期分)267,900円(年額535,800円)(予定額)振込用紙を用いた「振込」と指定の口座から引き落とす「口座振替」の2つの方法がございます。
「授業料納入のお知らせ」送付時期 … 前期 5月中旬
後期 11月中旬
- ② 入学時及び在学時に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな学生納付金が適用されます。
- ③ 授業料減免希望者は、55ページを参照してください。

(3) 提出書類

対象者	提出書類
フロンティア入試Type Iの合格者	「大学入学共通テスト受験票」の原本
全員 (入学料減免申請者を除く)	(2)により入学料を振り込んだ際に銀行等(ゆうちょ銀行含む)から発行される「日附印」が押された「入学料受付証明書」(「E」と印字された部分)の原本を所定の台紙にはり付けたもの
入学料減免申請者	入学料減免申請書 (54ページ「17 入学料減免と授業料減免」を参照)

(4) 入学手続方法(郵送のみ)

- ① (3)の書類を、入学手続期間内に必ず到着するように、「速達書留」で郵送してください。
- ② 郵送に使用する封筒の表に「フロンティア入試 入学手続書類在中」と朱書きし、裏面には、学部・学科等、受験番号、氏名を記入してください。

送付先	〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目 北海道大学学務部教育推進課
-----	--

(5) 入学手続完了後

入学式、新入生オリエンテーション等の案内及び修学関係書類は3月8日頃に送付します。

入学手続完了者で特別な事情により入学ができなくなった場合は、速やかに学務部教育推進課全学教育・総合教育担当(TEL(011)706-6098・5083)に電話で連絡し、指示を受けてください。

(6) 留意事項

フロンティア入試の最終合格者は、特別な事情が生じ、2月20日(月)17時までに具体的な理由を付した「入学辞退届」が提出された場合を除いて、本学又は他の国公立大学・学部(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。)を受験してもその合格者とはなりません。

16 個人情報の取扱い

- (1) 本学では、個人情報の取扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」を遵守するとともに、「国立大学法人北海道大学個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
- (2) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選考実施）、②合格発表、③入学手続、④入学手続者に対する入学前教育、⑤入学者選抜実施方法等に関する調査・研究、及び⑥これらに付随する業務を行うために利用します。
- (3) 合格者のみ、(2)の個人情報を入学後の①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、奨学金申請、入寮選考、福利厚生等）、③就職支援関係、④授業料等に関する業務、⑤附属図書館利用に関する業務、⑥情報教育施設利用に関する業務、⑦災害緊急時の安否確認・連絡等に関する業務、⑧広報関係（広報物、行事のご案内等の送付）に利用します。
- (4) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は、入学者選抜方法等に関する調査・研究を行うために利用します。
- (5) 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、フロンティア入試の合格及び入学手続き等に関する個人情報（氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限る。）が独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
- (6) 北大フロンティア基金及び次の①～⑤の本学関連団体から要請があった場合は、(2)の個人情報について、当該組織の活動に必要な範囲に限り提供することがあります。
①北海道大学医学部医学科学友会（医学部医学科合格者のみ対象）、②北海道大学歯学部学友会（歯学部合格者のみ対象）、③北海道大学工学部北工会（工学部合格者のみ対象）、④学部同窓会、⑤北海道大学校友会エルム
- (7) 上記(2)～(6)の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。業務委託に当たり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲に限り、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部が提供されます。

17 入学料減免と授業料減免

(1) 入学料減免について

入学料減免を希望する者は、以下により申請手続きを行ってください。

ア 入学料減免の申請資格

令和5(2023)年4月に、「高等教育の修学支援新制度」に基づく、日本学生支援機構が実施する「給付型奨学金」の申し込みを行う者

イ 入学料減免の額

入学料の減免が必要と認められた者については、判定結果に基づき、納入すべき入学料の全額、2/3又は1/3を減免します。

ウ 関係資料の請求方法及び請求先

① メールによる送付を希望する場合

メール本文に、入学料減免関係資料について送付希望である旨を記載してください。
なお、電子データで送付しますので、申請書類は自身で印刷し、下記エ②のとおり提出してください。メールでの申請書類提出は受け付けません。

② 郵送による送付を希望する場合

封筒に「入学料減免関係資料請求」と朱書きし、郵便番号・住所・氏名を記入した返信用封筒（角形2号等のA4サイズの書類が入るもの）を同封の上、郵送で請求してください。

請 求 先	〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目 北海道大学学務部学生支援課奨学支援担当 メールアドレス： syogaku@academic.hokudai.ac.jp
-------	---

エ 関係資料の請求期間、申請書類の提出期間及び提出方法

＜フロンティア入試type I＞

① 関係資料の請求期間

令和5(2023)年1月23日(月)から令和5(2023)年2月9日(木)まで(期間内必着)

② 申請書類の提出期間(入学手続き関係書類に同封して提出してください)

令和5(2023)年2月15日(水)から令和5(2023)年2月20日(月)まで(期間内必着)

＜フロンティア入試type II＞

① 関係資料の請求期間

令和4(2022)年11月28日(月)から令和4(2022)年12月8日(木)まで(期間内必着)

② 申請書類の提出期間(入学手続き関係書類に同封して提出してください)

令和4(2022)年12月12日(月)から令和4(2022)年12月15日(木)まで(期間内必着)

オ 留意事項

入学料減免の申請を希望する者は、入学手続きの際に入学料を納入しないでください。

全額減免が認められた者以外については、減免判定の決定後(8月上旬を予定)、新たに発行する振込用紙により入学料を納入してください。

カ 入学料減免に関する問合せ先

北海道大学学務部学生支援課奨学支援担当 TEL (011) 706-7530

(2) 授業料減免について

授業料減免を希望する者は、以下により申請手続きを行ってください。

ア 授業料減免の申請資格

- ① 令和4(2022)年4月から令和5(2023)年3月までの間に本人の学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という。)が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納入が著しく困難であると認められる者
- ② ①に準ずる場合であって、総長が相当と認める事由がある者
- ③ 令和5(2023)年4月に、「高等教育の修学支援新制度」に基づく、日本学生支援機構が実施する「給付型奨学金」の申し込みを行う者

イ 授業料減免の額

授業料の減免が必要と認められた者については、納入すべき授業料の全額、2/3、半額、1/3又は1/4を減免します。

ウ 関係資料の取得方法

北海道大学ホームページへ掲載しますので、申請希望者は直接ダウンロードして使用してください。(ダウンロードが困難な場合は下記問合せ先までご相談ください。)

北海道大学ホームページ (<https://www.hokudai.ac.jp/>)

トップメニュー>学生生活>各種手続き・証明書>入学料・授業料

※令和5(2023)年2月中旬にホームページへ掲載予定です。

※ホームページの名称は変わることがあります。

エ 申請書類の提出先及び提出期限

提出先 北海道大学高等教育推進機構④窓口(学務部学生支援課奨学支援担当)

提出期限 令和5(2023)年3月下旬予定

※詳細については関係資料をご覧ください。

オ 授業料減免に関する問合せ先

北海道大学学務部学生支援課奨学支援担当 TEL (011) 706-7530

18 学生寮の入寮案内

本学では、学生に対し、学生生活のための良好な環境を提供することを目的として、札幌地区に2つの学生寮を置いています。

(1) 概要

- ・ 恵迪寮^{けいてきりょう}（男女混住寮）・・・札幌市北区北18条西13丁目3番地（札幌キャンパス内）
 - ① 設置 … 昭和58年4月
 - ② 定員 … 580名
日本人学部学生（男子） 395名
日本人学部学生（女子） 95名
日本人大学院学生（男子） 50名
外国人留学生（男子） 40名
 - ③ 規模 … 鉄筋5階建6棟、共用棟2階建1棟、個室580室
日本人学生居室9.5㎡、外国人留学生居室12.0㎡
 - ④ 寄宿料 … 日本人学生は月額4,300円、外国人留学生は月額4,700円
※ その他、光熱水料等の経費（実費）が月額5,000円程度かかります。

- ・ 霜星寮^{そうせいりょう}（女子寮）・・・札幌市北区北14条西2丁目1番10号（札幌キャンパス外）
 - ① 設置 … 昭和59年4月
 - ② 定員 … 85名
日本人学生（女子） 64名
外国人留学生（女子） 21名
 - ③ 規模 … 鉄筋4階建、個室85室
日本人学生居室9.1㎡、外国人留学生居室9.9㎡、9.1㎡
 - ④ 寄宿料 … 日本人学生は月額4,300円、外国人留学生は月額4,700円（9.9㎡）、4,300円（9.1㎡）
※ その他、光熱水料等の経費（実費）が月額5,000円程度かかります。

- ・ 学生寮の施設等に関する情報は、本学ホームページにも掲載しています。
北海道大学ホームページ (<https://www.hokudai.ac.jp/>)
トップメニュー>学生生活>各種手続き・証明書>住まい（学生寮・アパートなど）・アルバイト

(2) 入寮募集について

令和5（2023）年4月入寮募集に関する詳細については、合格通知書に同封する「入寮案内」でお知らせします。

(3) 学生寮に関する問合せ先

北海道大学学務部学生支援課生活支援担当 TEL (011)706-7532

「大学案内誌 (Be ambitious)」及び「フロンティア入試案内」の請求方法

1. 北海道大学案内誌 (Be ambitious) について

本学及び本学各学部の概要，教育理念，学習目標，カリキュラムの特徴，求める学生像を理解してもらうため，「北海道大学案内誌 (Be ambitious)」を配付しています。

入手希望者は，窓口（入試課又はインフォメーションセンター「エルムの森」）で直接受領するか，郵送を希望する場合は以下のいずれかの方法により請求してください。

(1) テレメールで請求する方法

(ア) 北海道大学ホームページから直接請求する場合

北海道大学ホームページからテレメールを経由して大学案内が請求できます。詳しくは北海道大学ホームページ (<https://www.hokudai.ac.jp/>) の「入学案内」→「資料請求」をご覧ください。発送開始日は，下記(イ)と同じです。

(イ) インターネットで請求する場合

テレメール（インターネット）を利用してください。



インターネットの場合
(パソコン・携帯電話・スマートフォン)

<https://telemail.jp>

右のバーコードからアクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。



資料請求番号 560202 (215円後納/7月下旬以降発送予定)

※上記(ア)，(イ)とも，料金はお届けする資料に同封されている料金支払用紙の支払い方法に従い，表示料金をお支払いください。

なお，支払いに際して手数料が別途必要です（手数料は支払い方法によって異なります。）。

テレメールに関する請求方法・発送についてのお問合せ先：

テレメールカスタマーセンター IP電話 050-8601-0102 (9:30~18:00 12/31, 1/1を除く)

(2) 大学情報センターの「モバっちょ」で請求する場合（料金：250円）

携帯電話，スマートフォン及びパソコンから請求できます。（お急ぎの方は宅配便も利用できます。） URL:<https://djcm-b.jp/hokudai3/>



【料金の支払方法】

①請求時払い	携帯電話払い，スマートフォン払い及びクレジットカード払いができます。（支払手数料が別途 50 円必要です。） ※携帯電話・スマートフォンの機種，携帯電話会社との契約状況によっては，通話料金と一緒に支払いができない場合があります。その場合は「②後払い」を選択してください。
②後払い	資料到着後，コンビニエンスストアでお支払いください。（支払い手数料が別途 126 円必要です。）

「モバっちょ」に関する請求方法・発送についてのお問合せ先：

大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター
電話 050-3540-5005 (平日 10:00~18:00)

2. 北海道大学フロンティア入試案内について（窓口又は入試課宛の郵送による請求のみ）

本学では，フロンティア入試の概要，先輩達からのメッセージ，過去の志願者数・合格者数，課題論文要約等を記載した「フロンティア入試案内」を作成しています。入手希望者は，返信用封筒

【角形2号 (24cm×33.2cm) (郵便番号，住所，氏名を明記し，210円分 (速達の場合は500円分) の切手をはる。)】を同封した封筒の表面左下欄に，「フロンティア入試案内請求」と朱書きし，下記宛に請求してください。

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目 北海道大学学務部入試課

※「北海道大学案内誌 (Be ambitious)」及び「フロンティア入試案内」の電子版は，本学ホームページ「入学案内」の「資料請求・ダウンロード/過去の入試データ」のページにも掲載しています。

※郵便料金等の改定が行われた場合は，改定時から新たな料金が適用されます。

フロンティア入試（総合型選抜） 過去の志願者数・合格者数

令和4（2022）年度フロンティア入試

学部・学科等		募集人員	志願者数	倍率	第1次選考合格者数	第2次選考合格者数	最終合格者数	
T y p e I	理学部地球惑星科学科	5	15 (6)	3.0	9 (3)	5 (2)	4 (1)	
	医学部 保健学科	医学科	5	9 (5)	1.8	9 (5)	5 (3)	0
		看護学専攻	7	16 (15)	2.3	10 (10)	3 (3)	3 (3)
		放射線技術科学専攻	7	12 (6)	1.7	9 (5)	2 (1)	2 (1)
		検査技術科学専攻	10	5 (3)	0.5	4 (2)	0	0
		理学療法学専攻	4	5 (5)	1.3	5 (5)	0	0
		作業療法学専攻	7	2 (2)	0.3	2 (2)	0	0
	歯学部	5	5 (1)	1.0	5 (1)	5 (1)	1	
	工学部	応用理工系学科 (応用マテリアル工学コース)	4	0	-	-	-	-
		環境社会工学科 (社会基盤学コース)	4	3 (2)	0.8	2 (1)	1 (1)	0
水産学部	20	45 (9)	2.3	41 (9)	23 (6)	6 (2)		
T y p e II	理学部	数学科	13	50 (6)	3.8	50 (6)	13 (2)	13 (2)
		物理学科	14	22 (1)	1.6	22 (1)	10	10
		化学科	11	25 (4)	2.3	25 (4)	11 (1)	11 (1)
		生物科学科 (高分子機能学専修分野)	3	6 (3)	2.0	6 (3)	3 (1)	3 (1)
	工学部	応用理工系学科 (応用物理工学コース)	15	49 (5)	3.3	49 (5)	15 (1)	15 (1)
		機械知能工学科	5	18	3.6	12	5	5
環境社会工学科 (環境工学コース)	5	31 (12)	6.2	31 (12)	5 (1)	5 (1)		

() 内は女子で内数

令和3（2021）年度総合型選抜

		募集人員	志願者数	倍率	第1次選考合格者数	最終合格者数
理学部地球惑星科学科		5	20 (7)	4.0	9 (6)	1 (1)
医学部 保健学科	医学科	5	8 (3)	1.6	8 (3)	1 (1)
	看護学専攻	7	20 (19)	2.9	16 (16)	4 (4)
	作業療法学専攻	4	9 (5)	2.3	7 (3)	4 (1)
歯学部		5	5 (3)	1.0	5 (3)	4 (3)
工学部	応用理工系学科 (応用マテリアル工学コース)	4	2 (1)	0.5	2 (1)	0 (0)
	環境社会工学科 (社会基盤学コース)	4	2 (0)	0.5	2 (0)	1 (0)
水産学部		20	52 (27)	2.6	40 (20)	14 (8)

() 内は女子で内数

令和4(2022)年度フロンティア入試 出身地別志願者数・合格者数

	志願者数	合格者数
道内	145 (41)	42 (8)
道外	173 (44)	36 (5)
在外教育施設	0	-
全体	318 (85)	78 (13)

※()内は女子で内数

道内振興局名	志願者数	合格者数
空知	7 (1)	2 (1)
石狩	87 (25)	22 (4)
後志	0	-
胆振	10 (2)	4 (1)
日高	1 (1)	0
渡島	9 (2)	2 (1)
檜山	0	-
上川	7 (3)	4 (1)
留萌	0	-
宗谷	0	-
オホーツク	8 (2)	3
十勝	10 (3)	4
釧路	5 (1)	1
根室	1 (1)	0
道内合計	145 (41)	42 (8)

都道府県名	志願者数	合格者数
青森県	2 (1)	0
岩手県	3 (1)	1
宮城県	4	1
秋田県	1 (1)	0
山形県	0	-
福島県	2	0
茨城県	7 (1)	2
栃木県	3 (2)	1
群馬県	4	0
埼玉県	14 (5)	5 (2)
千葉県	3	0
東京都	38 (9)	10
神奈川県	14 (4)	2 (1)
新潟県	1 (1)	0
富山県	0	-
石川県	3 (1)	0
福井県	0	-
山梨県	1	0
長野県	5	2
岐阜県	8 (1)	1
静岡県	3	1
愛知県	4 (2)	2 (1)
三重県	1	0

都道府県名	志願者数	合格者数
滋賀県	0	-
京都府	3 (2)	1
大阪府	10 (3)	1
兵庫県	13 (5)	3
奈良県	2	0
和歌山県	4	1
鳥取県	1 (1)	0
島根県	1	0
岡山県	2	0
広島県	2	0
山口県	0	-
徳島県	3	0
香川県	0	-
愛媛県	0	-
高知県	1 (1)	0
福岡県	5 (1)	1
佐賀県	1 (1)	1 (1)
長崎県	1	0
熊本県	0	-
大分県	1	0
宮崎県	0	-
鹿児島県	0	-
沖縄県	2 (1)	0
道外合計	173 (44)	36 (5)

切 取 線

令和5(2023)年度大学入学共通テスト成績請求票貼り付け台紙

提出期間：令和4年12月12日(月)～12月19日(月) (簡易書留郵便・期間内必着)

送付先：〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目 北海道大学学務部入試課

大学入学共通テスト成績請求票
貼り付け位置

※この欄に、令和5年度大学入学共通テスト
成績請求票(国公立総合型選抜用)
を貼ること。

志願学部・学科・専攻等 _____

受 験 番 号 F _____

氏 名 _____

北海道大学案内図（札幌キャンパス）



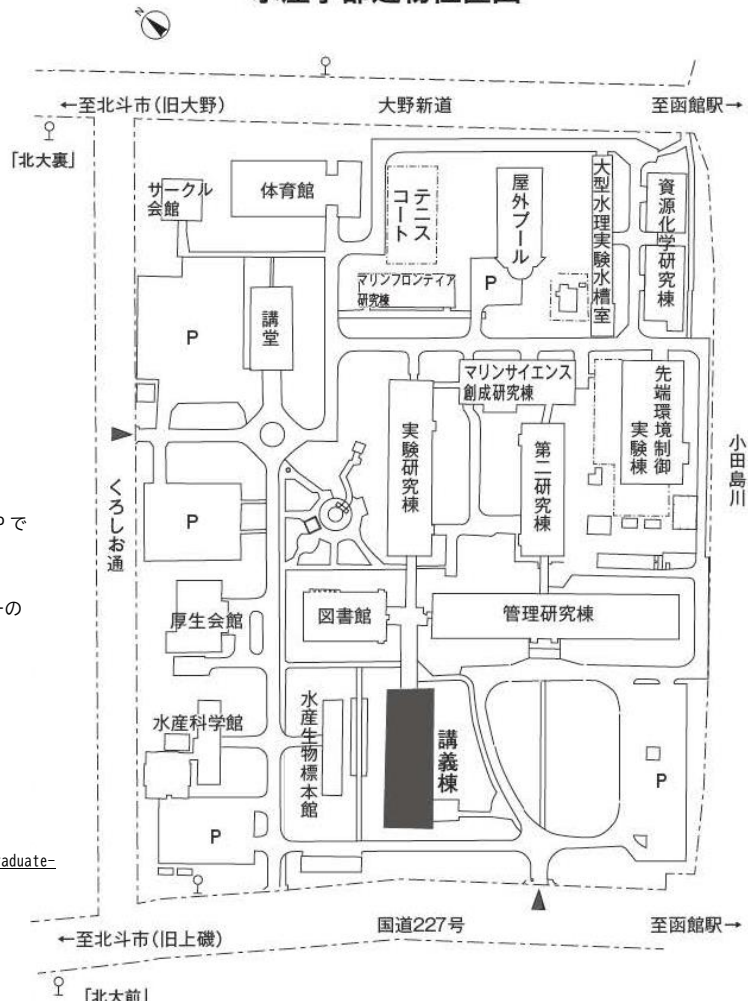
※ 会場は変更となる場合があります。受験票の表示を確認してください。

北海道大学案内図（函館キャンパス）

函館市内位置図



水産学部建物位置図



試験場（予定）

～大学へのアクセス～

- <JR 函館駅から約 4.5 km>
 - ・タクシーで約 15 分、約 1,700 円
 - ・バスで 15～20 分
(直通バスは本数が少ないのでバス会社 HP で時刻をご確認ください)
 - ・バス停から大学まで徒歩 3～5 分
- <JR 五稜郭駅から徒歩の場合 1.8 km、タクシーの場合 3 km>
- <函館空港から>
 - ・タクシーで約 30 分、約 3,000 円
- <新幹線 新函館北斗駅から>
 - ・函館ライナーで JR 五稜郭駅まで 10 分、JR 函館駅まで 15 分

他、詳細は「水産学部 HP (<https://www2.fish.hokudai.ac.jp/department-graduate-school/access.html>)」をご覧ください。

オープンキャンパス情報

令和4年度のオープンキャンパスにつきましては、現在、開催方法について検討をしています。詳細について決定次第、随時本学ホームページにてお知らせいたします。

※ 北海道大学ホームページ入学案内 (<https://www.hokudai.ac.jp/admission/>)

各種問合せ先

○フロンティア入試全般に関すること

学務部入試課特別選抜担当

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目 電話 (011) 706-7484

○検定料、入学料、授業料の支払い及び返還に関すること

財務部経理課収入担当

〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目 電話 (011) 706-2048

○入学手続に関すること

学務部教育推進課全学教育・総合教育担当

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目 電話 (011) 706-6098・5083

○入学料減免及び授業料減免に関すること

学務部学生支援課奨学支援担当

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目 電話 (011) 706-7530

○学生寮に関すること

学務部学生支援課生活支援担当

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目 電話 (011) 706-7532

北海道大学アドミッションセンター入学相談室

「こんな勉強がしたいが、どこの学部に入學したらいいのか」、「〇〇学部では、自分の希望する勉強ができるか」、「入試方法のうち△△の部分がよくわからない」など、北海道大学を志望されるみなさんのいろいろな質問や、入學に関する相談に対し、電子メールによる受付を行っています。詳細は、北海道大学ホームページ

(<https://www.hokudai.ac.jp/admission/>) をご覧いただいた上で、ご利用ください。

なお、お問合せの時期・内容によっては、回答までに時間を要する場合がありますので、お急ぎの場合は、電話をご利用ください。

北海道大学アドミッションセンター入学相談室窓口

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目 (学務部入試課内)

E-mail admission@academic.hokudai.ac.jp

TEL 011-706-7484 (受付窓口)

平日8:30~17:00 (年末年始を除く)

